

令和4年度 東大通“人中心の空間づくり”社会実験

PLAY PUBLIC PLACE 東大通みちばたりビング 報告書



新潟市都市政策部

実施概要

事業概要・事業目的

社会実験の概要

社会実験の概要～空間創出～

社会実験の概要～イベント～

社会実験の検証項目

検証結果

歩行者交通量調査

利用実態調査

利用者・沿道建物テナントアンケート調査

常設カフェ・キッチンカー売上額調査

社会実験のまとめ



実施概要



○ 東大通“人中心の空間づくり”推進事業について

新潟駅・万代地区周辺将来ビジョンの具現化に向け、東大通の将来の姿を可視化し、沿道建物の建て替えにおける低層階の用途誘導や道路空間利活用を図り、人中心のウォーカブルな空間づくりを推進するため、民地と一体となった道路空間を利活用した社会実験を官民連携により実施するもの

○ 目的

- ・ 人中心のウォーカブルな空間づくりを目指す、東大通の将来の姿を可視化する
- ・ 東大通における持続可能な利活用の可能性を公民連携で検証する



出展：新潟市「都市再生緊急整備地域 新潟都心地域の目指す姿」より

社会実験の概要



- 期 間：令和4年10月1日（土）～30日（日）
- 場 所：主要地方道新潟停車場線
（東大通：新潟駅前～明石通り）
- 主 催：新潟市
東大通利活用実行委員会
（新潟駅前商工振興会、新潟駅前弁天通商店街振興組合）
東日本旅客鉄道株式会社新潟支社
- 内 容：新潟市では、車道の一部にテラスデッキを
設け、ベンチ・テーブル、植栽などの設置
により、居心地よい空間づくりを実施

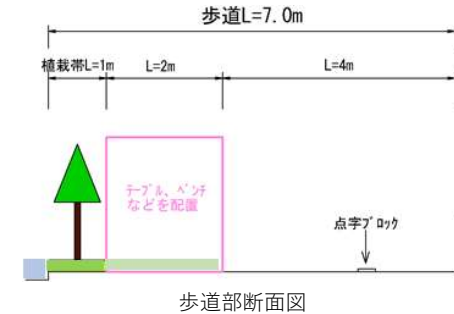
：実行委員会等では、滞在空間を活用し、
常設カフェやキッチンカーの出店、
週末の各種イベントを開催



社会実験の概要 ～空間創出～



- (Aエリア)車道の一部にパークレットを設置
- エリアごとにコンセプトやターゲットを設定し、歩道スペース4mを確保して什器等を配置 (右図)
- 植栽等による居心地よい空間づくりを実施



【エリア図】

[Bエリア]ベンチシートリビング

大樹生命ビル 明治安田生命ビル

[Aエリア]デッキリビング

日生不動産ビル マルタケビル

至萬代橋

至新潟駅

[Dエリア]ストリートリビング

北陸ビル 北越第一ビル

[Cエリア]トランジットリビング

第3マルカビル 東大通ビル 堀川ビル 第5マルカビル

【仮設什器凡例】

- ベンチ×7台 W1500×D500
- パラソル×2台 φ1600
- イステーブル×3セット W1350×D598(テーブルサイズ)
- イス×6、2人用テーブル×3 4人用テーブル×2
- 植栽プランター×20台 W1000×D400
- 造作サインベンチA×2台 W1600×D1200
- 造作サインベンチB×2台 W1200×D1200
- ヘキサベンチ×8台 W900×D450
- ベンチ×5台 W1350×D570
- 人工芝×7枚 L10000×W2000

【道路上既存物凡例】

- 植栽帯
- 高木
- 街灯柱
- 地上電源機器
- キッチンカー乗り入れ想定箇所

社会実験の概要 ～空間創出～



Aエリア

デッキリビング

【エリアのコンセプト】

テラスデッキや亀田縞で作られたパラソルなど、他のエリアにはないテラスのような空間を演出。

週末を中心にイベントが開催されるなど、社会実験のメインステージ的な役割を担う。

総合案内所を兼ねた常設カフェが併設され、食事をしたり、くつろぎながら過ごせるエリア。

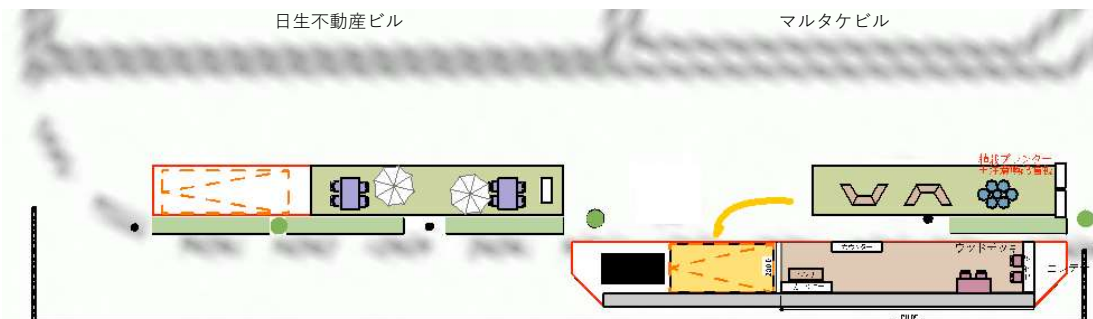
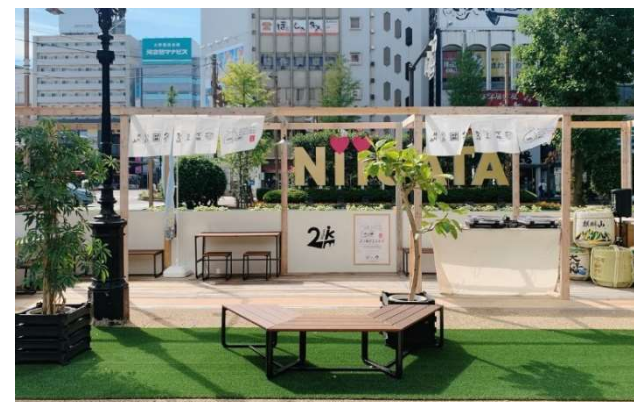
【主なターゲット層】

帝石前バス停から新潟駅に向かう人
常設カフェ利用者

【設置什器等】

※期間中、イベントに合わせて増減あり

- ・テラスデッキ×1基
- ・常設カフェ×1基
- ・亀田縞パラソル×2基
- ・造作ベンチ×1基
- ・（樹脂製）テーブル・イスセット×2セット
- ・（木製）テーブル・イスセット×2セット
- ・（樹脂製）ベンチ×5基
- ・ごみ箱×1基
- ・人工芝、植栽（高木、低木、石製プランター）
- ・キッチンカー出店区画×2区画



Bエリア

ベンチシートリビング

【エリアのコンセプト】

バスを降りた時や新潟駅に向かう通りがかりなどに、ベンチに座ってみたり植物の緑に癒やされたりしながらちょっと一休みできる空間を演出。

ベンチに腰掛けて、いつもと違った視点からまちを眺めて楽しむエリア。

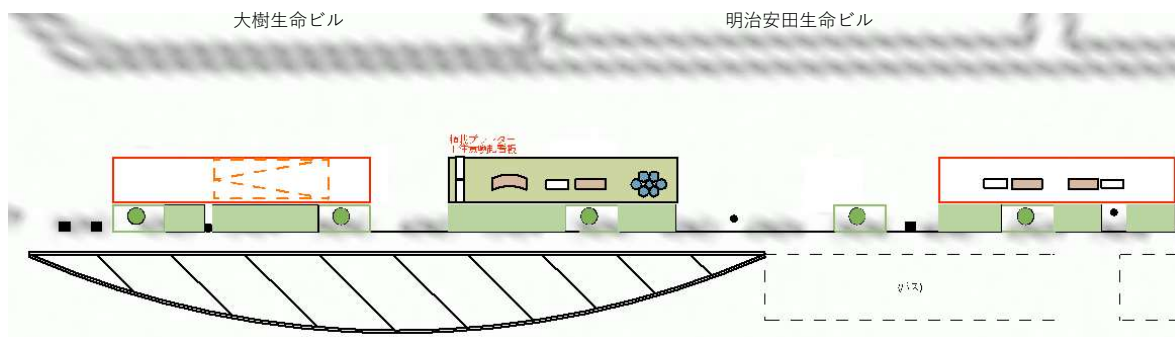
【主なターゲット層】

帝石前バス停から新潟駅に向かう人
朱鷺メッセなど万代島方面に向かう人

【設置什器等】

※期間中、イベントに合わせて増減あり

- ・造作ベンチ×1基
- ・（樹脂製）ベンチ×4基
- ・人工芝、植栽（石製プランター）
- ・キッチンカー出店区画×2区画



Cエリア

トランジットリビング

【エリアのコンセプト】

バスやタクシーの乗り場が近くにあり、それらの待ち時間などにベンチに座ったり読み物をしてみたりと、気軽に試してみることができる空間を演出。

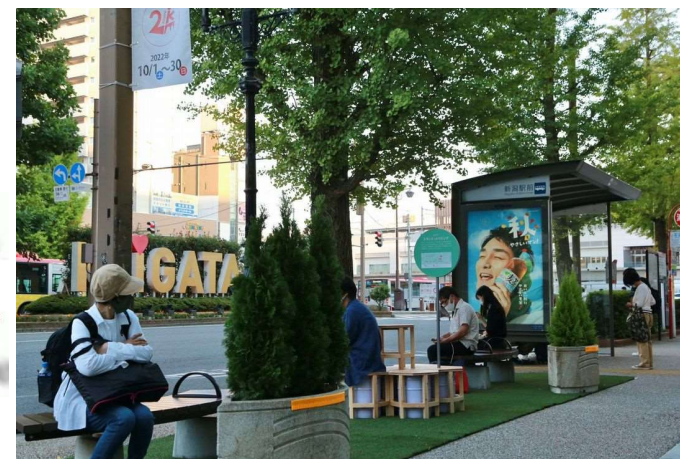
待ち時間をゆったり楽しむエリア。

【主なターゲット層】

高速バスやタクシーの乗車待ちの人

【設置什器等】 ※期間中、イベントに合わせて増減あり

- ・ 造作ベンチ×1基
- ・ (樹脂製) ベンチ×5基
- ・ 人工芝、植栽 (石製プランター)



社会実験の概要 ～空間創出～



Dエリア

ストリートリビング

【エリアのコンセプト】

ベンチやテーブルなどが設置され、誰でも思い思いの過ごし方ができる、みちばたの居場所となる空間を演出。

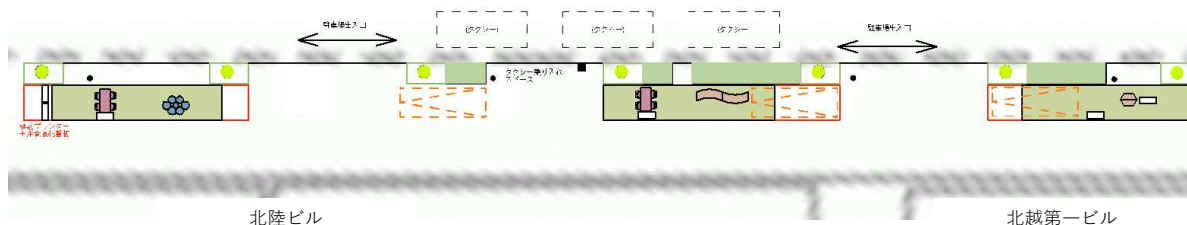
みんなでおしゃべりしてみたり、リビングのようにのんびりしてみたり、テイクアウトしてきた食べ物を食べてみたり、自由に楽しく使ってみるエリア。

【主なターゲット層】

新潟駅と万代シティの区間を行き交う人
沿道建物テナントで働く人

【設置什器等】 ※期間中、イベントに合わせて増減あり

- ・ 造作ベンチ × 1基
- ・ (樹脂製) ベンチ × 3基
- ・ (樹脂製) テーブル・イスセット × 2セット
- ・ 人工芝、植栽 (石製プランター)
- ・ キッチンカー出店区画 × 3区画



社会実験の概要 ～イベント～



東大通
“人中心の空間づくり”
社会実験

MICHIJIBATA

PLAY PUBLIC PLACE

東大通 みちばた リビング

2022
10/1(土) ↓ 30(日)

●東大通(新潟駅前)明石通り

お問い合わせ
東大通利活用実行委員会
運営事務局
[株式会社ニギハヤチ日本企業振興株式会社内]
☎025-247-7032
平日10時～17時

○ 常設カフェの出店

- ・原則、11時から20時までオープン
- ・独自イベントの開催 (主に週末)
- ・総合案内所の役割

○ キッチンカーの出店 ※最大6台の出店

- ・毎週水曜のランチ&ナイトタイム
- ・毎週土曜のナイトタイム

○ 早朝ウォーキング

- ・期間中3回 (10/1・10・30) 開催

○ ショーウィンドウの展示

- ・専門学校等2校とコラボ

○ 東大通ハロウィン

- ・10/29開催
- ・大道芸人によるパフォーマンス
- ・物品協賛企業提供のお菓子等配布 など

東大通が、リビングのような空間に。

東大通にベンチやテーブル、花と緑のほか、テラスデッキなどにより居心地よい空間をつくれます。常設カフェや、キッチンカーの出店のほか、各種イベントを開催します。新潟駅と東大通の将来の風景を想像しながら、“みちばた”でゆっくり過ごしてみませんか？

東大通“人中心の空間づくり”社会実験とは…
「にいがた2km」の玄関口である新潟駅前の東大通では、新潟駅周辺のリニューアルを迎え、沿道建物の建て替えが進捗するなか、将来的な人中心の空間創出に向け、段階的な刷新を図るため、人中心の空間づくり社会実験と題し、創出イベントを実施するものです。

新潟駅の目の前にテラスデッキが登場!

毎週水曜日[10/5・12・19・26] ランチ&ナイトデー
毎週土曜日[10/8・15・22・29] ナイトデー

2つの商店街がタッグ開催
商店街テイクアウト月間

東大通がカフェに家賃常設カフェ

まちなかのウィンドウと学生がコラボ(北越第一ビル)ショーウィンドウ

「にいがた2km」を歩いて巡ろう
早朝ウォーキング

ファミリー大歓迎のハロウィンイベントを実施!
東大通ハロウィン

東大通みちばたリビング実施場所

新型コロナウイルス感染対策についてのお願い

新型コロナウイルス感染対策のため、実施の際はマスク着用をお願いします。咳や発熱の症状のある場合はご来場をお控えください。ソーシャルディスタンスに心がけ、ゆとりある期間でお楽しみください。

特設サイト
東大通みちばたリビングの詳細はこちらから

JR 新潟日本新井 新潟支社

社会実験の概要 ～イベント～



常設カフェ



10/1 日本酒イベント



10/1 日本酒イベント (JAZZ演奏)



10/8 ミニマルシェ

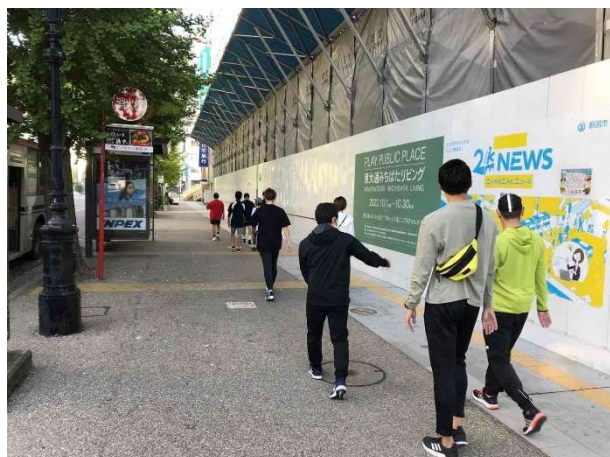


キッチンカー (ランチタイム)



キッチンカー (ナイトタイム)

社会実験の概要 ～イベント～



早朝ウォーキング



ショーウィンドウの展示①



ショーウィンドウの展示②



東大通ハロウィン



東大通ハロウィン (パルパ フォーマス)



東大通ハロウィン (マジックショー)

社会実験の検証項目



項目	調査名	調査目的	調査内容	調査方法
交通への影響	歩行者交通量調査	・社会実験実施中の交通量の変化	・令和4年9月～11月の交通量 等	携帯電話の位置情報を活用したデータによる測定
什器等の利用実態	利用実態調査	・社会実験実施に伴い設置した什器の利用状況等の分析	・令和4年10月26日(水)10:00～20:00のテーブル・ベント等の利用状況 ・令和4年10月29日(土)10:00～20:00のテーブル・ベント等の利用状況	現地調査
意識の変化	アンケート調査			
	利用者	・社会実験に対する意見収集	社会実験の満足度、社会実験継続の可否、危険箇所 等	・アンケート調査 ・聞き取り調査
	沿道建物 入居テナント	・社会実験に対する意見収集 ・社会実験実施による意識の変化	社会実験の認知度、今後の関わりしろ 等	アンケート調査
持続可能な利活用の可能性	常設カフェ及びキッチンカー売上額調査	・需要の分析	売上額、次年度の出店意向	聞き取り調査



検証結果



歩行者交通量調査

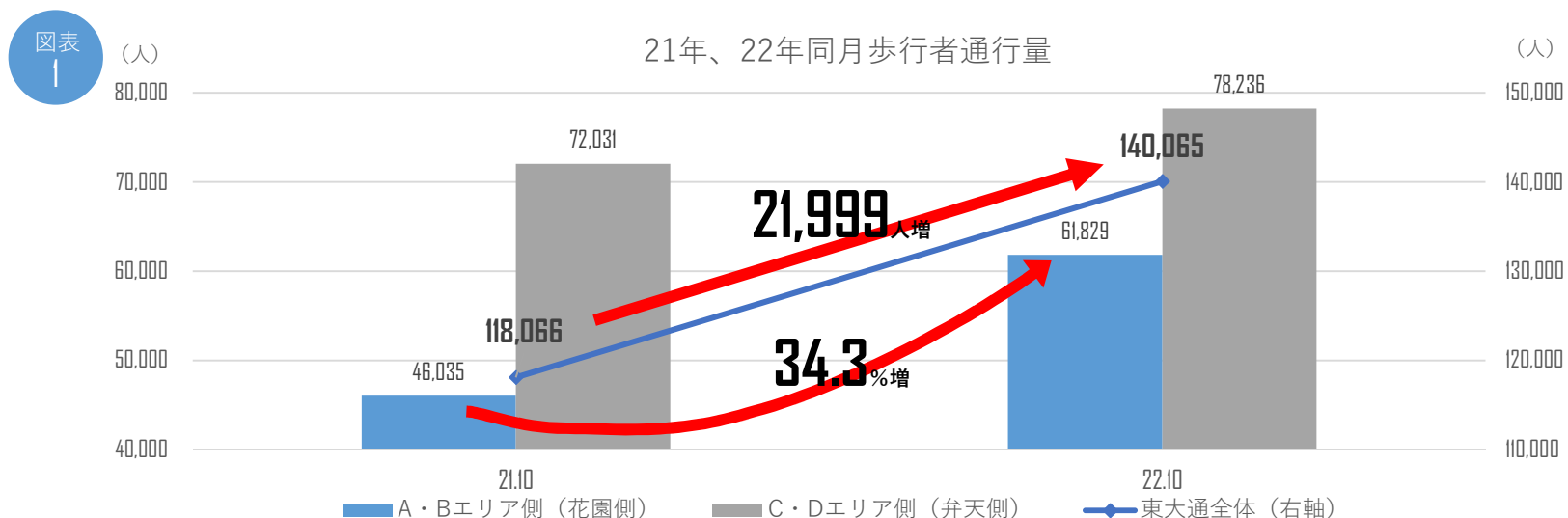
歩行者交通量調査

【歩行者交通量調査の条件等】

・携帯電話業者の位置情報ビッグデータ（KDDI Location Analyzer）を活用したデータにより測定 ※20代以上のデータとなる



- ・社会実験を実施した10月の歩行者通行量が、前年同月比約**18.6%**（**21,999人**）増加している。
- ・A・Bエリア側（花園側）より、**C・Dエリア側（弁天側）**の方が交通量が多い。（図表1）
- ・C・Dエリア側（弁天側）より、**A・Bエリア側（花園側）**の方が増加率が高い。（図表1）



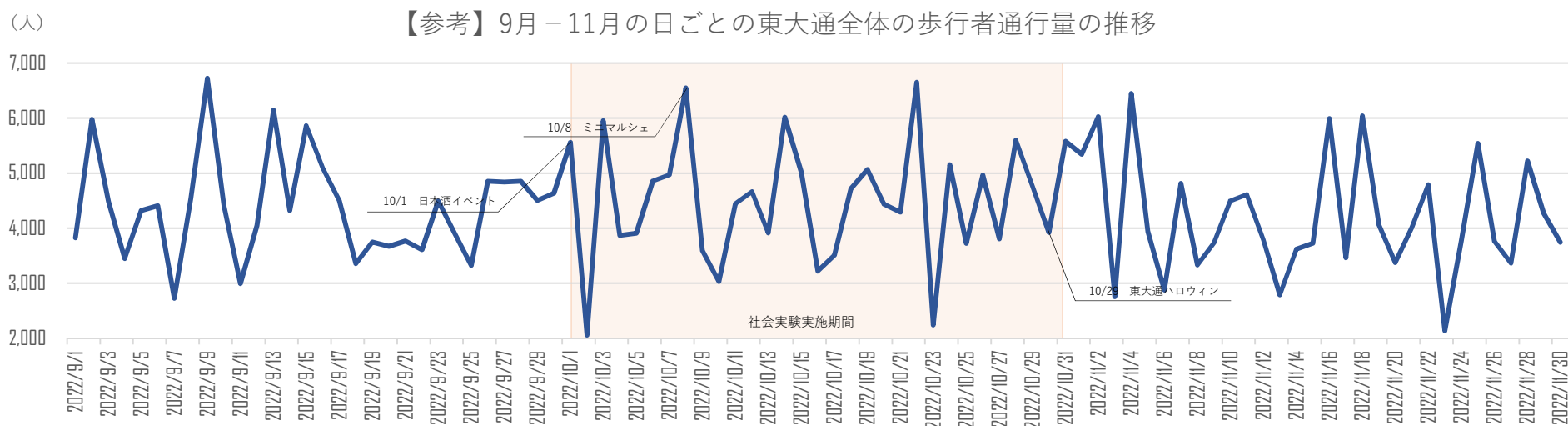
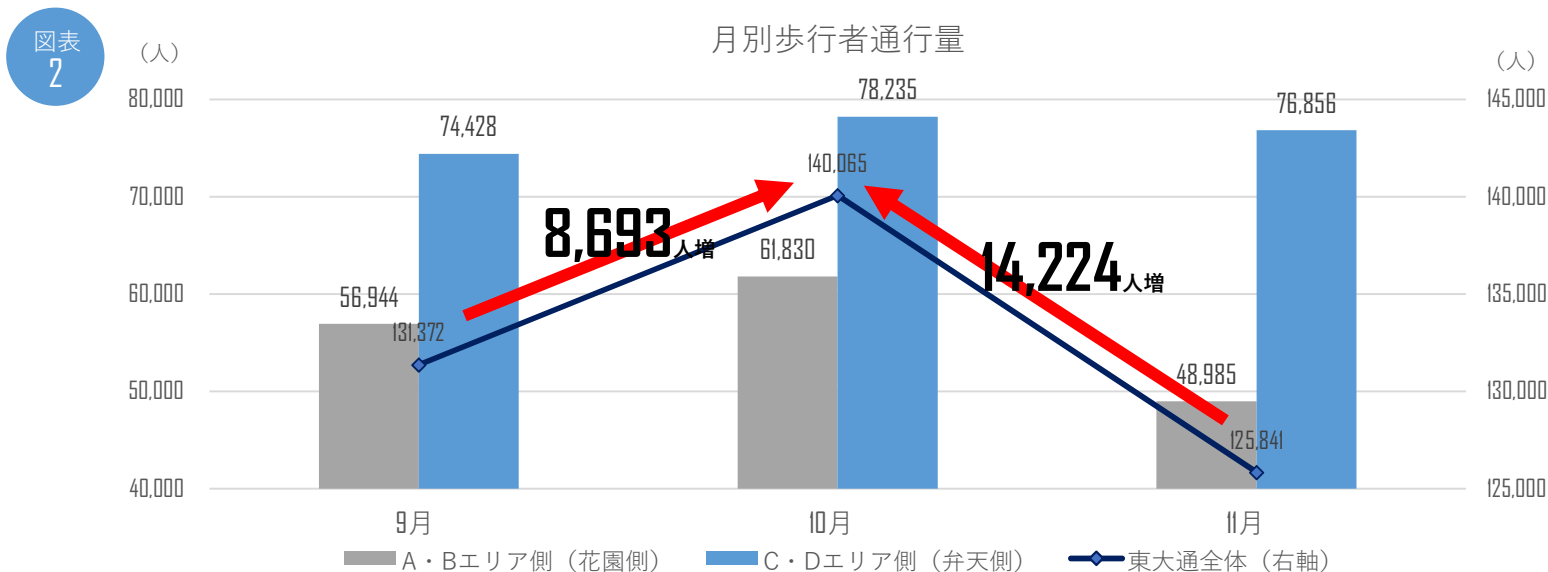
	21.10		22.10	
	花園側	弁天側	花園側	弁天側
男性	24,810(53.9%)	41,068(57.0%)	32,700(52.9%)	44,114(56.4%)
女性	21,225(46.1%)	30,963(43.0%)	29,129(47.1%)	34,122(43.6%)
	21.10		22.10	
	花園側	弁天側	花園側	弁天側
20代	6,207 (13.5%)	12,880 (17.9%)	13,172 (21.3%)	18,830 (24.1%)
30代	9,645 (21.0%)	16,077 (22.3%)	14,233 (23.0%)	16,550 (21.2%)
40代	9,819 (21.3%)	12,597 (17.5%)	10,955 (17.7%)	10,941 (14.0%)
50代	8,985 (19.5%)	14,749 (20.5%)	10,234 (16.6%)	13,664 (17.5%)
60代	6,754 (14.7%)	8,200 (11.4%)	8,114 (13.1%)	9,998 (12.8%)
70歳以上	4,621 (10.0%)	7,525 (10.4%)	5,115 (8.3%)	8,248 (10.5%)

歩行者交通量調査

【歩行者交通量調査の条件等】
 ・携帯電話業者の位置情報ビッグデータ（KDDI Location Analyzer）を活用したデータにより測定 ※20代以上のデータとなる



・社会実験を実施した10月の歩行者通行量が、前後月と比べて増加している。（図表2）



歩行者交通量調査

【歩行者交通量調査の条件等】

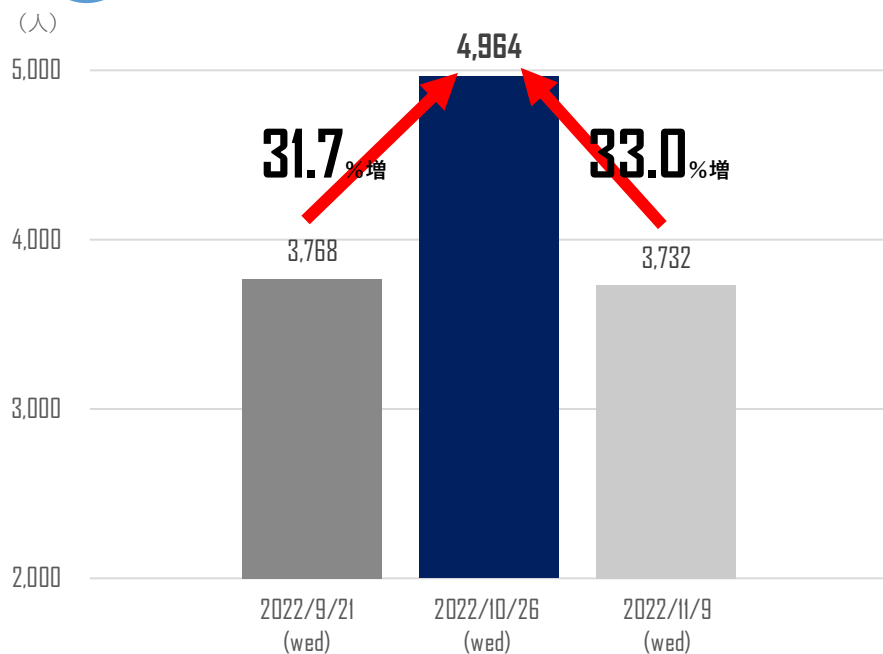
・携帯電話業者の位置情報ビッグデータ（KDDI Location Analyzer）を活用したデータにより測定



- ・社会実験実施期間中キッチンカー出店日（2022/10/26）の歩行者通行量は、**社会実験期間前後の同曜日と比べて増加（3割強）**している。（図表3）
- ・社会実験実施期間中イベント開催日（2022/10/29）の歩行者通行量は、**社会実験期間前後の同曜日と比べて増加（2割強）**している。（図表4）

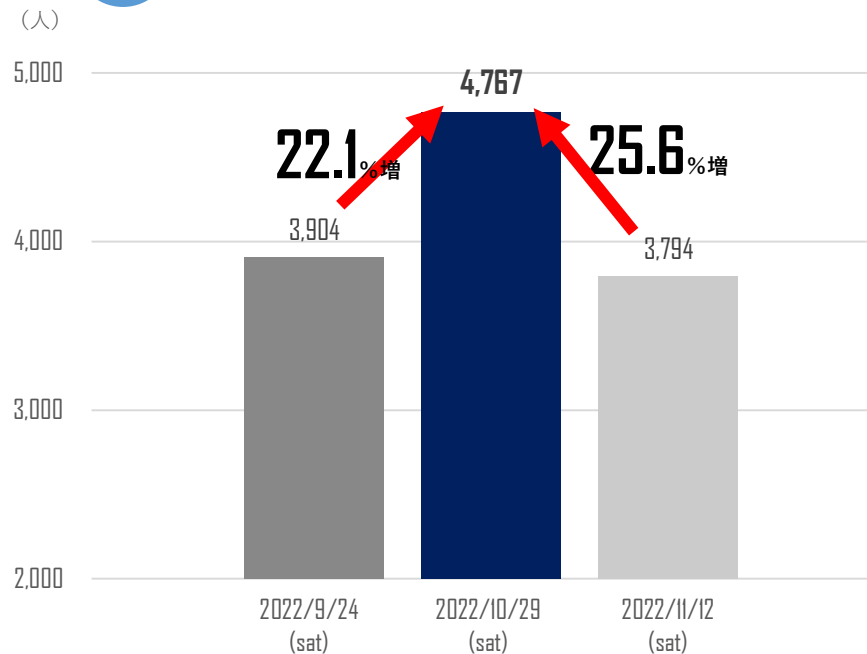
図表
3

キッチンカー出店日（2022/10/26(wed)）との比較



図表
4

イベント開催日（2022/10/29(sat)）との比較



利用実態調査

【参考】利用実態調査 基本情報



【利用実態調査の条件等】

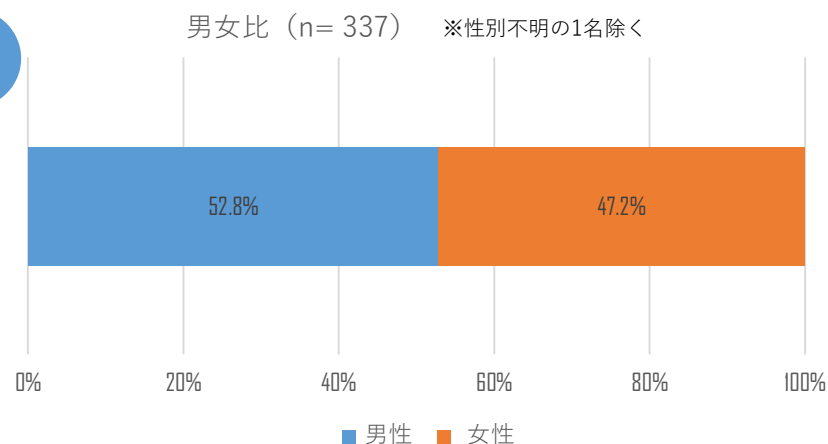
実施日時：令和4年10月26日(水)10:00～20:00
 天候：晴れ、最高気温17℃、最低気温5℃
 調査方法：調査員目視による現地調査
 利用者数：338人
 賑わい創出：常設カフェ、キッチンカー5台

【利用実態調査の条件等】

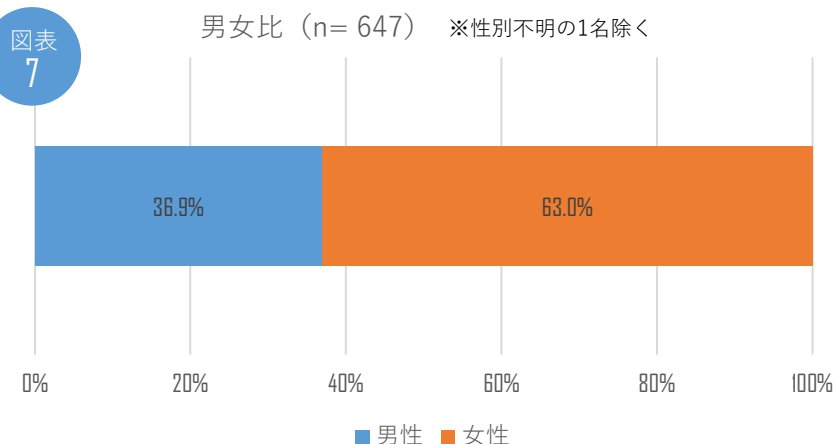
実施日時：令和4年10月29日(土)10:00～20:00
 天候：晴れ、最高気温18℃、最低気温12℃
 調査方法：調査員目視による現地調査
 利用者数：648人
 賑わい創出：常設カフェ、東大通ハロウィン

約1.9倍

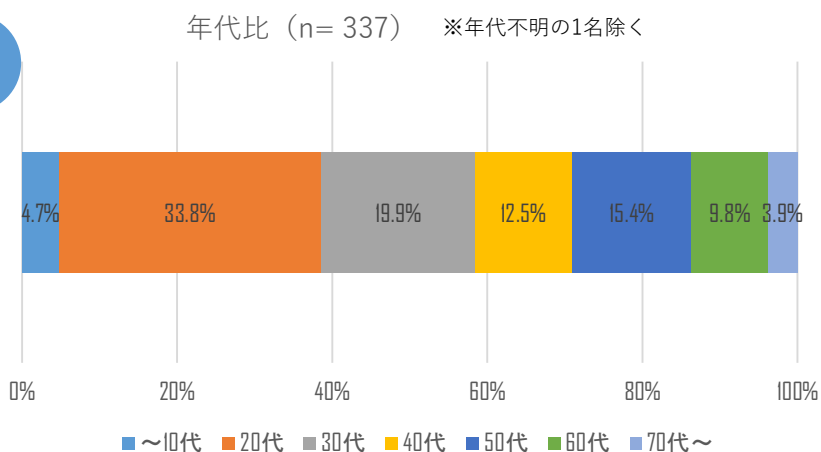
図表 5



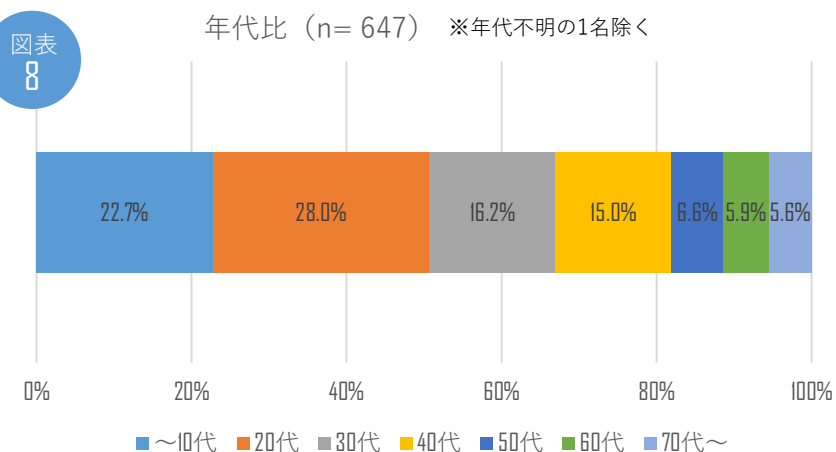
図表 7



図表 6



図表 8



利用実態調査
～令和4年10月26日(水)～

利用実態調査

【利用実態調査の条件等】

実施日時：令和4年10月26日(水)10:00～20:00

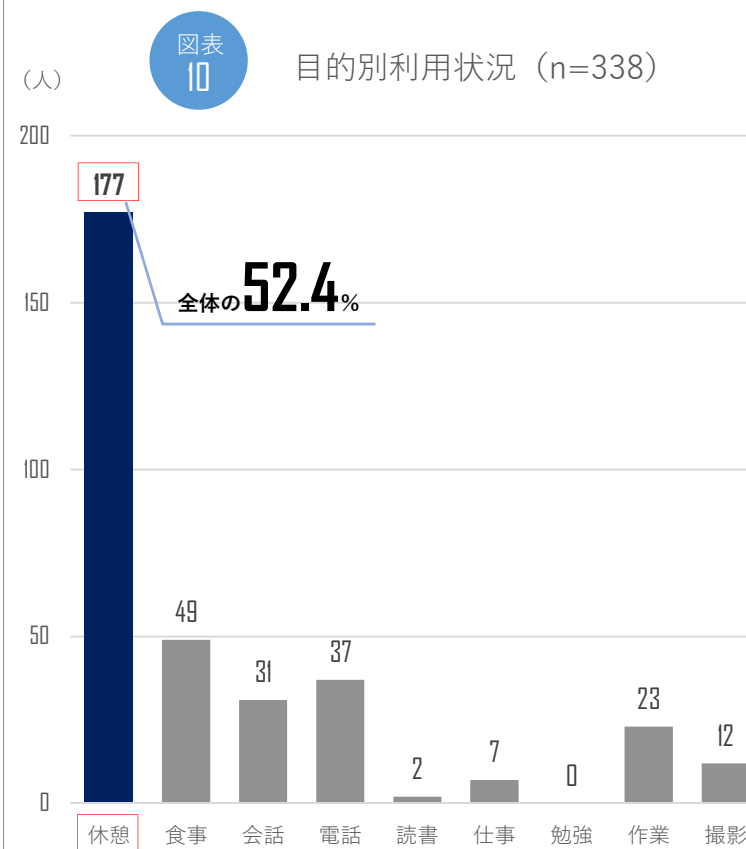
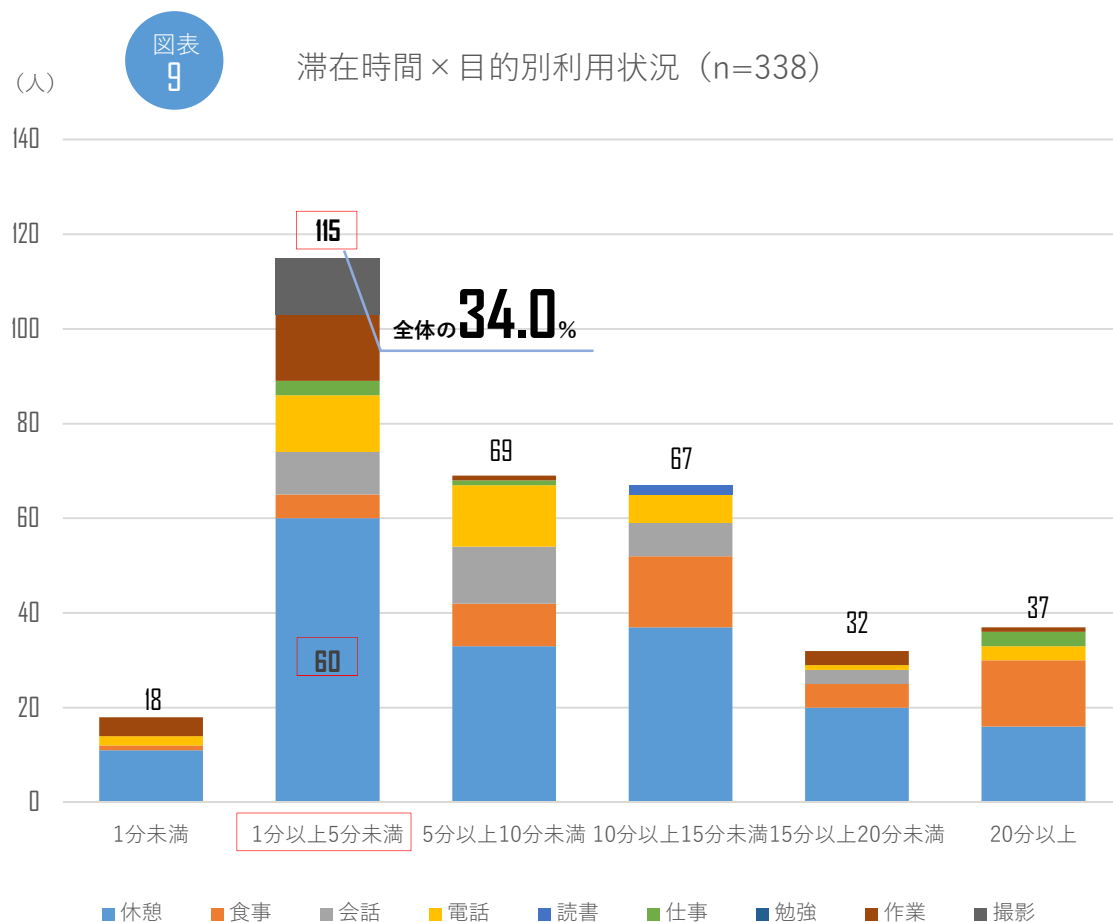
調査方法：調査員目視による現地調査

天候：晴れ、最高気温17°C、最低気温5°C

n=338人



- ・「1分以上5分未満」の利用が最も多く115人となり、全体の34.0%となった（図表9）
また、「1分以上5分未満」の利用の内、「休憩」での利用が最も多く60人となった。（図表9）
- ・利用目的は「休憩」が最も多く177人となり、全体の52.4%となった。（図表10）



利用実態調査

【利用実態調査の条件等】

実施日時：令和4年10月26日(水)10:00～20:00

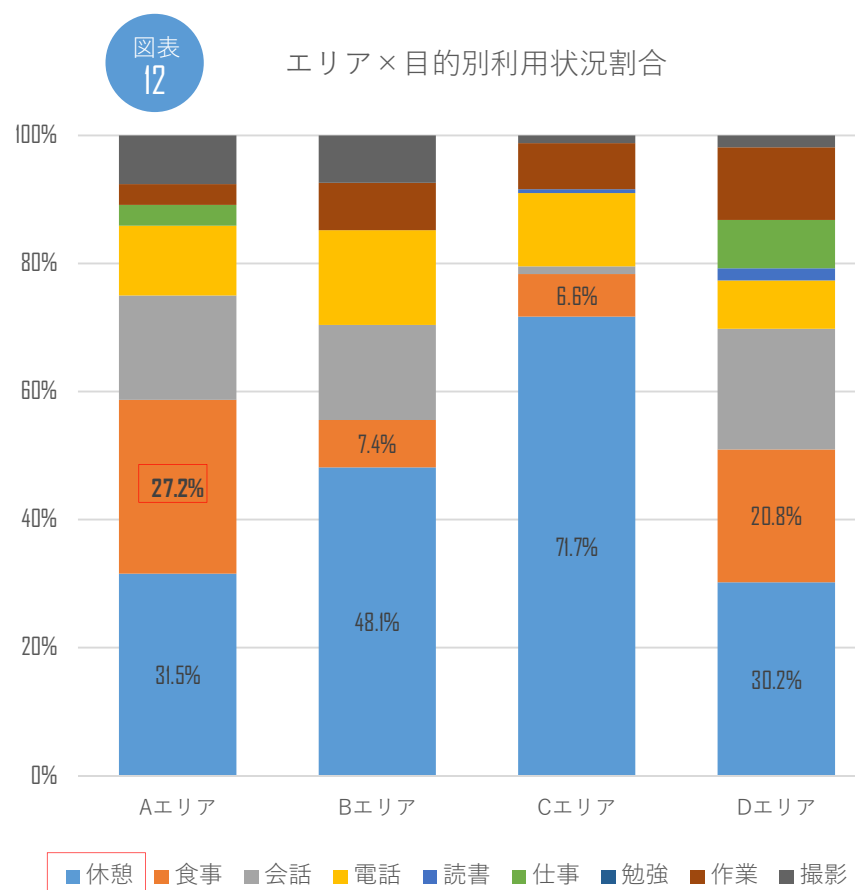
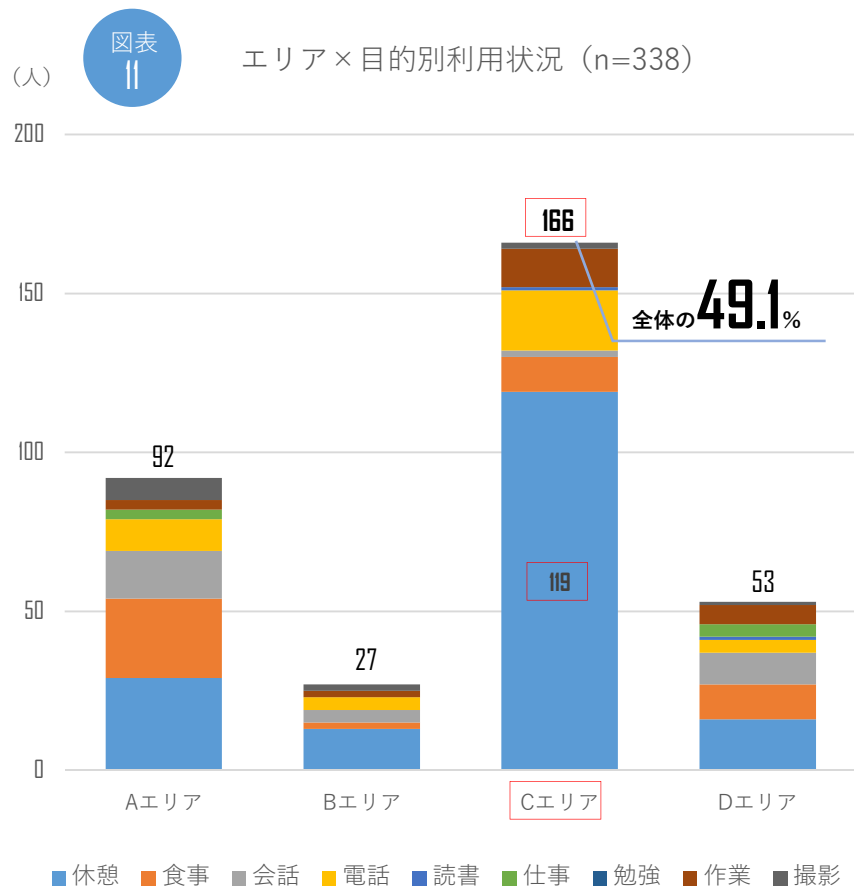
調査方法：調査員目視による現地調査

天候：晴れ、最高気温17°C、最低気温5°C

n=338人



- ・ **Cエリアの利用が最も多く166人となり、全体の49.1%となった。** (図表11)
また、Cエリアの利用の内、「休憩」での利用が最も多く119人となった。 (図表11)
- ・ **全エリアにおいて、「休憩」の割合が最も多くなった。** (図表12)
また、Aエリアでは「食事」の割合が高かった。 (図表12)



利用実態調査

【利用実態調査の条件等】

実施日時：令和4年10月26日(水)10:00～20:00

調査方法：調査員目視による現地調査

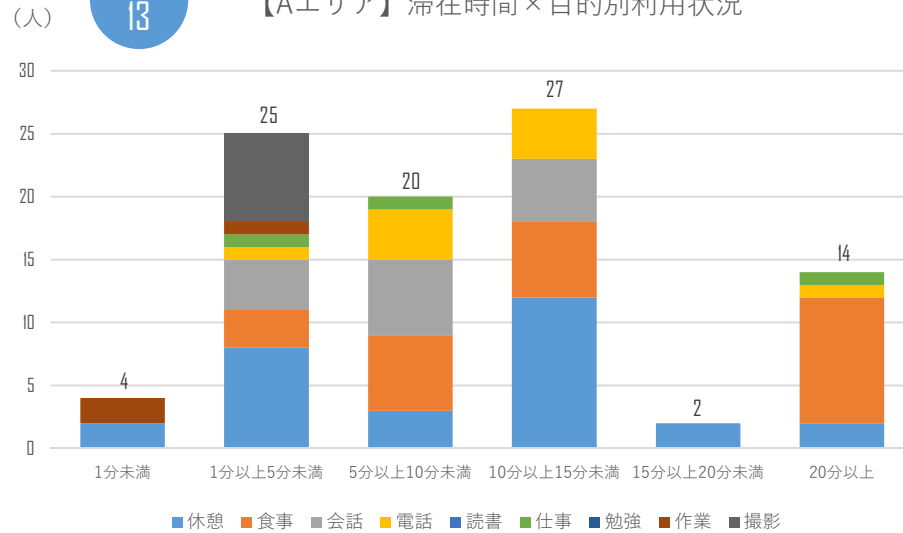
天候：晴れ、最高気温17℃、最低気温5℃

n=338人



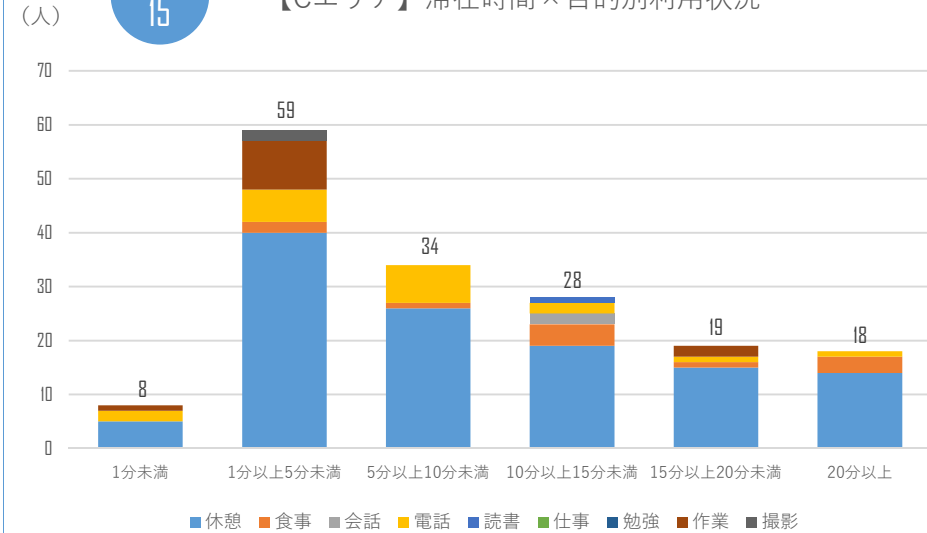
図表 13

【Aエリア】滞在時間×目的別利用状況



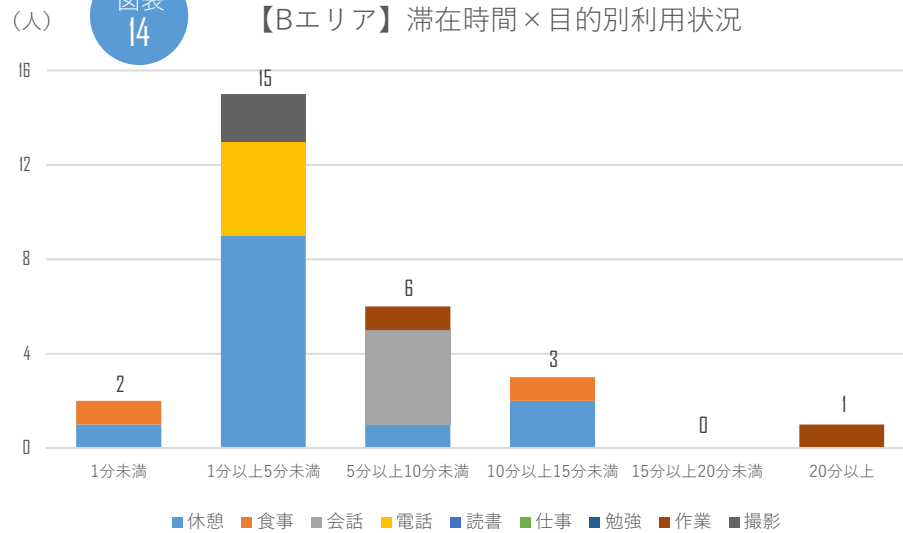
図表 15

【Cエリア】滞在時間×目的別利用状況



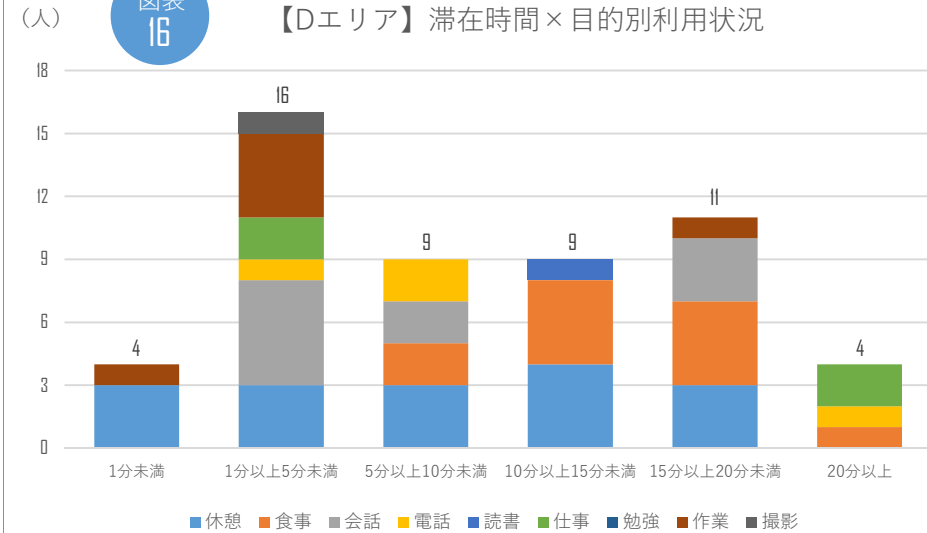
図表 14

【Bエリア】滞在時間×目的別利用状況



図表 16

【Dエリア】滞在時間×目的別利用状況



利用実態調査

【利用実態調査の条件等】

実施日時：令和4年10月26日(水)10:00～20:00

調査方法：調査員目視による現地調査

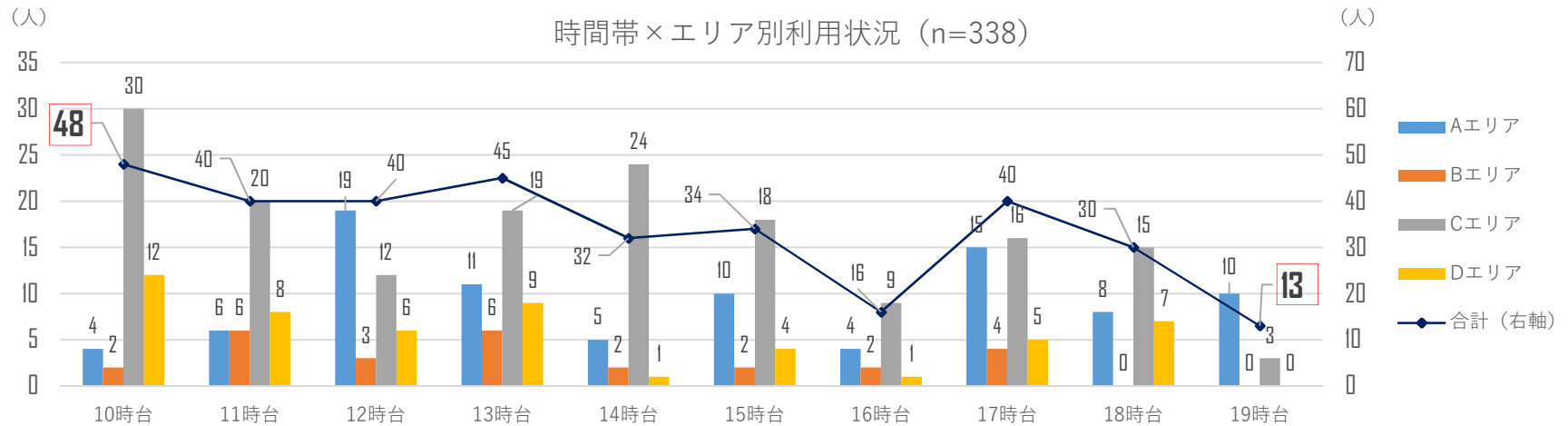
天候：晴れ、最高気温17°C、最低気温5°C

n=338人

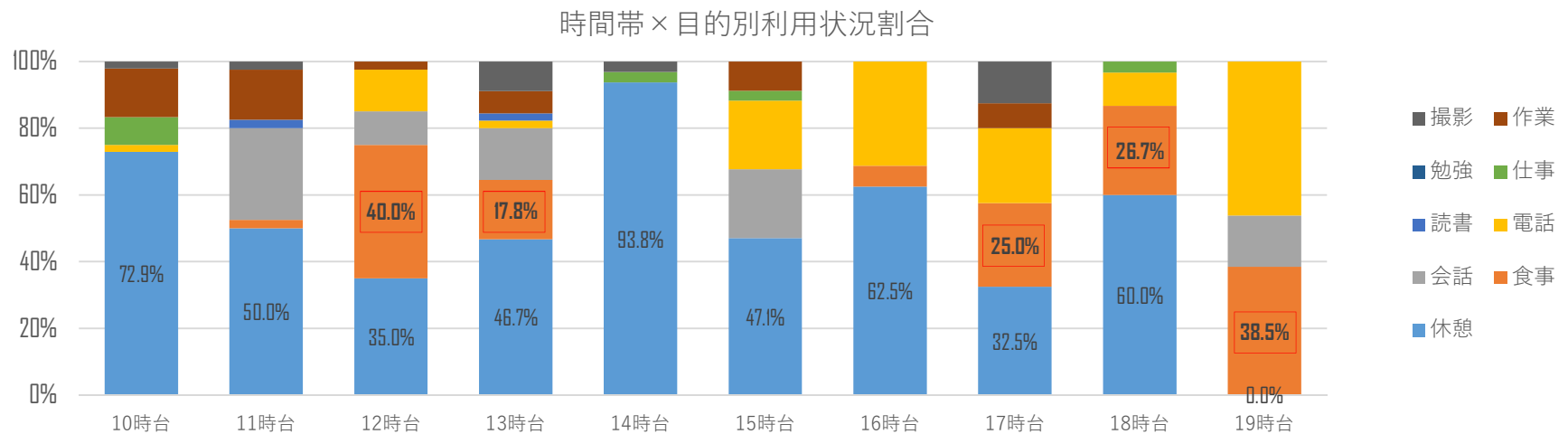


- ・ 10時台の利用が最も多く全体で48人となり、19時台の利用が最も少なく13人となった。(図表17)
- ・ 12時台及び19時台はAエリアの利用が最も多く、それ以外の時間帯は、Cエリアの利用が最も多かった。(図表17)
- ・ 昼食時間帯（12時～13時）及び帰宅時間帯（17時以降）は「食事」での利用割合が高く、それ以外の時間帯は「休憩」での利用割合が高かった。(図表18)

図表 17



図表 18



利用実態調査

【利用実態調査の条件等】

実施日時：令和4年10月26日(水)10:00～20:00

天候：晴れ、最高気温17°C、最低気温5°C

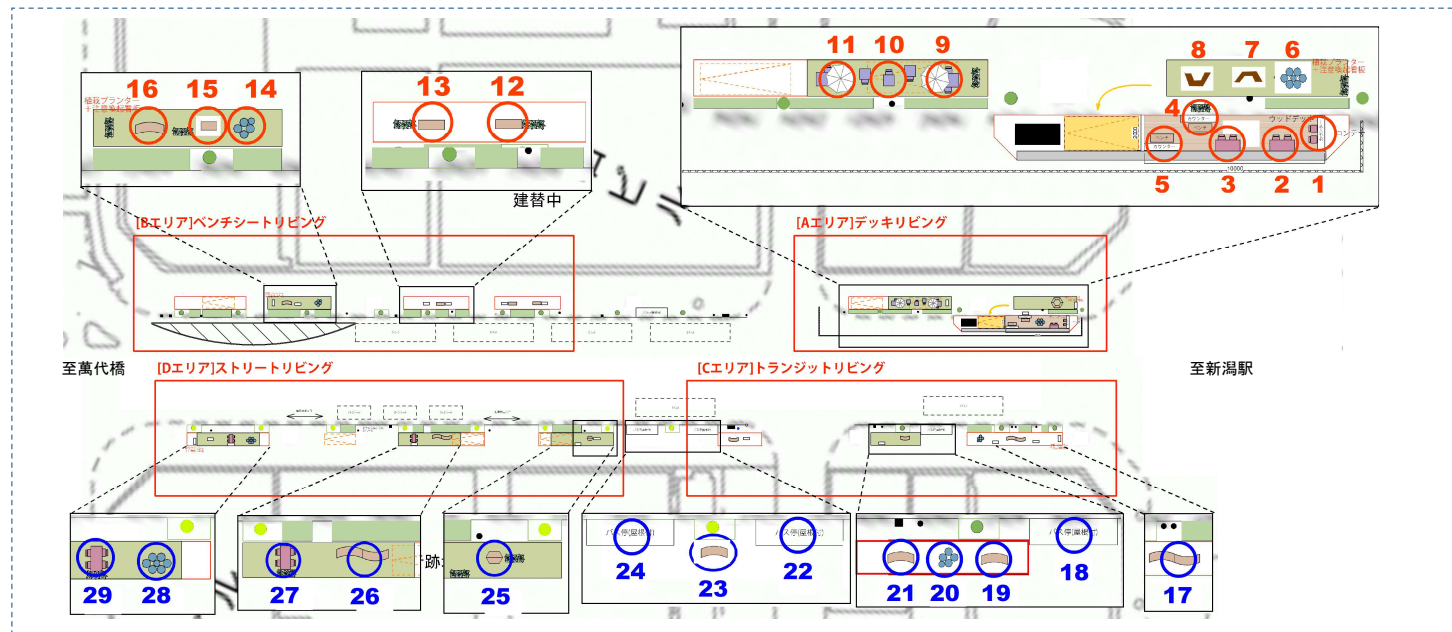
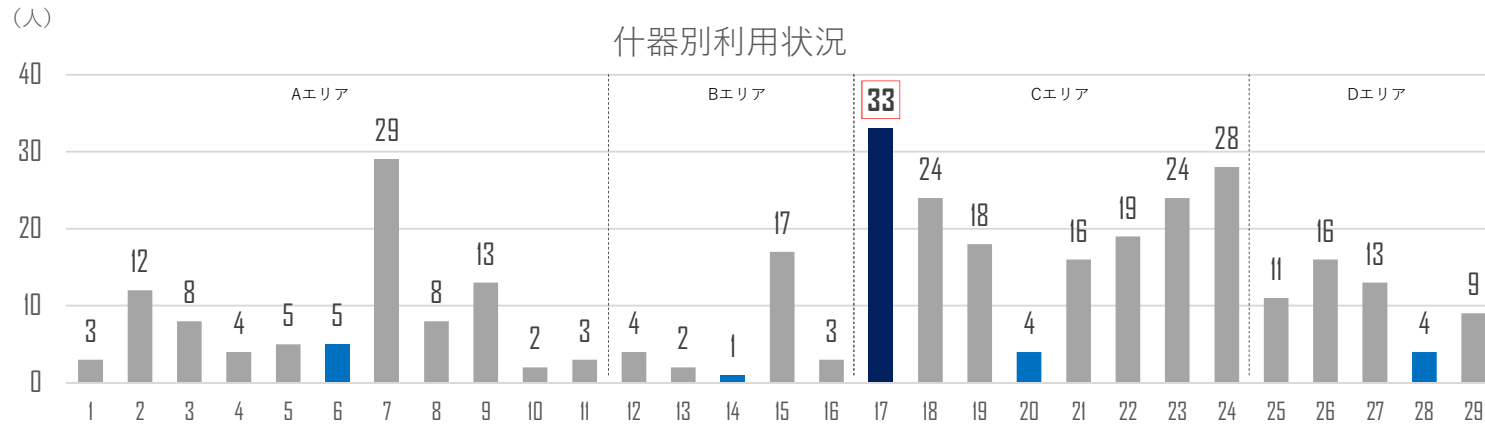
調査方法：調査員目視による現地調査

n=338人



- ・ 什器の利用が最も多かったのは、**CエリアのNo.17で33人**となった。(図表19)
- ・ 交差点及びバス停があるCエリア付近の什器の利用が多かった。(図表19)
- ・ **造作ベンチ (No.6、14、20、28)**の利用が少なかった。(図表19)

図表
19



- 1 : ローカウンター・1人ベンチ (樹脂製) × 2脚
- 2 : ローテーブル・1人ベンチ (樹脂製) × 2脚
- 3 : ローテーブル・1人ベンチ (樹脂製) × 2脚
- 4 : ハイカウンター
- 5 : ハイカウンター
- 6 : 造作ベンチ (木製)
- 7 : 1人ベンチ (樹脂製) × 3脚
- 8 : 1人ベンチ (樹脂製) × 3脚
- 9 : 4人掛けテーブル・イスセット (木製)
- 10 : テーブル (木製)
- 11 : 4人掛けテーブル・イスセット (木製)
- 12 : 2人ベンチ (樹脂製)
- 13 : 2人ベンチ (樹脂製)
- 14 : 造作ベンチ (木製)
- 15 : 2人ベンチ (樹脂製)
- 16 : 3人ベンチ (樹脂製)
- 17 : 3人ベンチ (樹脂製) × 2脚
- 18 : 3人ベンチ (樹脂製・既存)
- 19 : 3人ベンチ (樹脂製)
- 20 : 造作ベンチ (木製)
- 21 : 3人ベンチ (樹脂製)
- 22 : 3人ベンチ (樹脂製・既存)
- 23 : 3人ベンチ (樹脂製)
- 24 : 3人ベンチ (樹脂製・既存)
- 25 : 1人ベンチ (樹脂製) × 2脚
- 26 : 3人ベンチ (樹脂製) × 2脚
- 27 : 4人掛けテーブル・イス
- 28 : 造作ベンチ (木製)
- 29 : 4人掛けテーブル・イス

利用実態調査
～令和4年10月29日(土)～

利用実態調査

【利用実態調査の条件等】

実施日時：令和4年10月29日(土)10:00～20:00

天候：晴れ、最高気温18℃、最低気温12℃

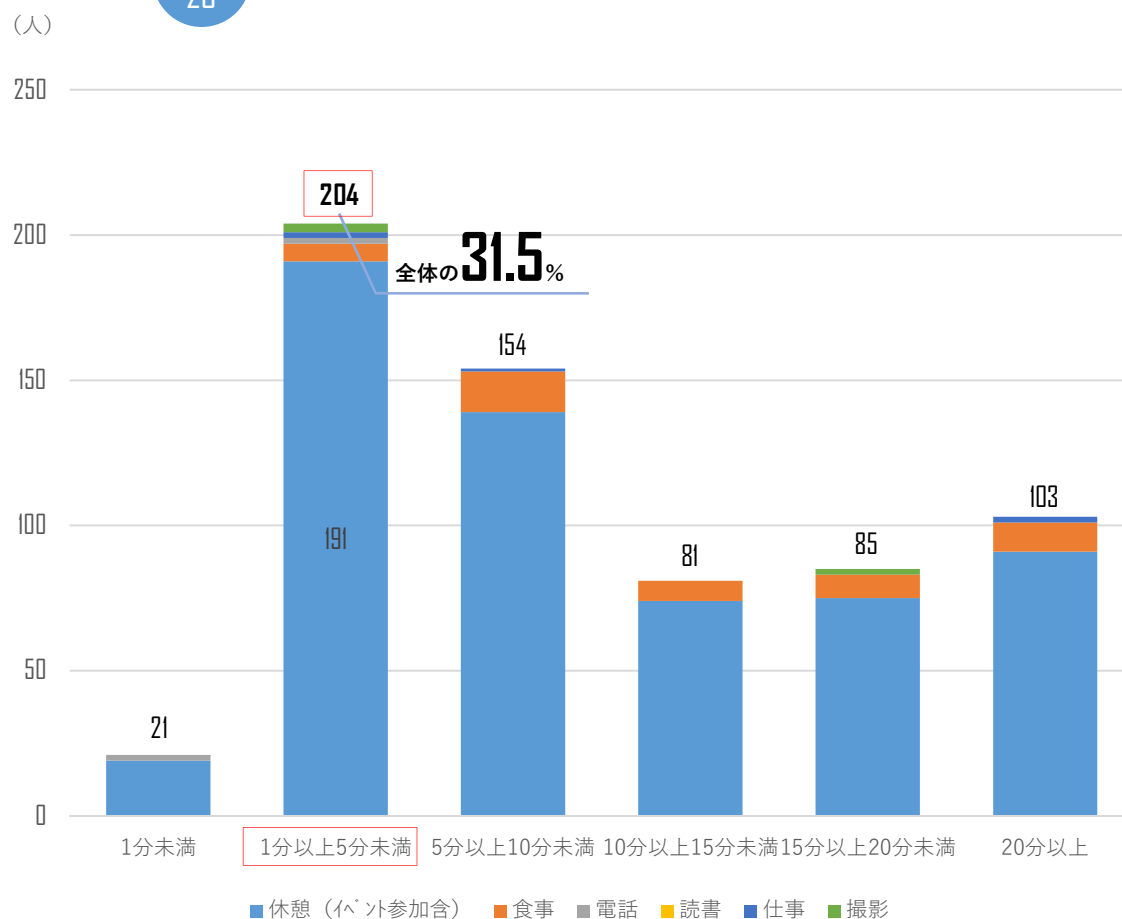
調査方法：調査員目視による現地調査

n=648人

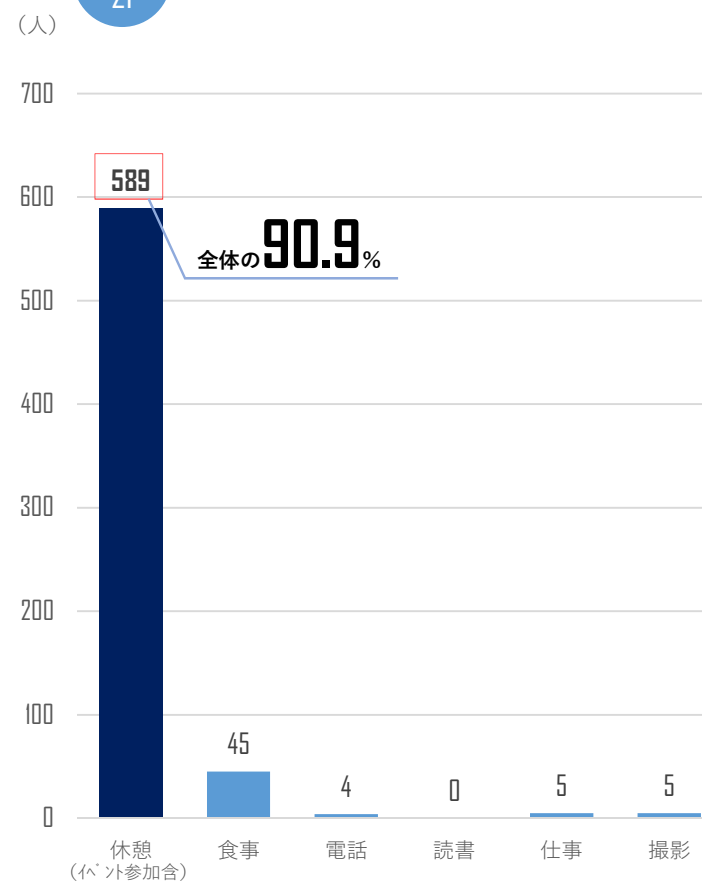


- ・「1分以上5分未満」の利用が最も多く204人となり、全体の31.5%となった。（図表20）
また、「1分以上5分未満」の利用の内、「休憩（イベント参加含）」での利用が最も多く191人となった。（図表20）
- ・利用目的は「休憩」が最も多く497人となり、全体の90.9%となった。（図表21）

図表 20 滞在時間 × 目的別利用状況 (n=648)



図表 21 目的別利用状況 (n=648)



利用実態調査

【利用実態調査の条件等】

実施日時：令和4年10月29日(土)10:00～20:00

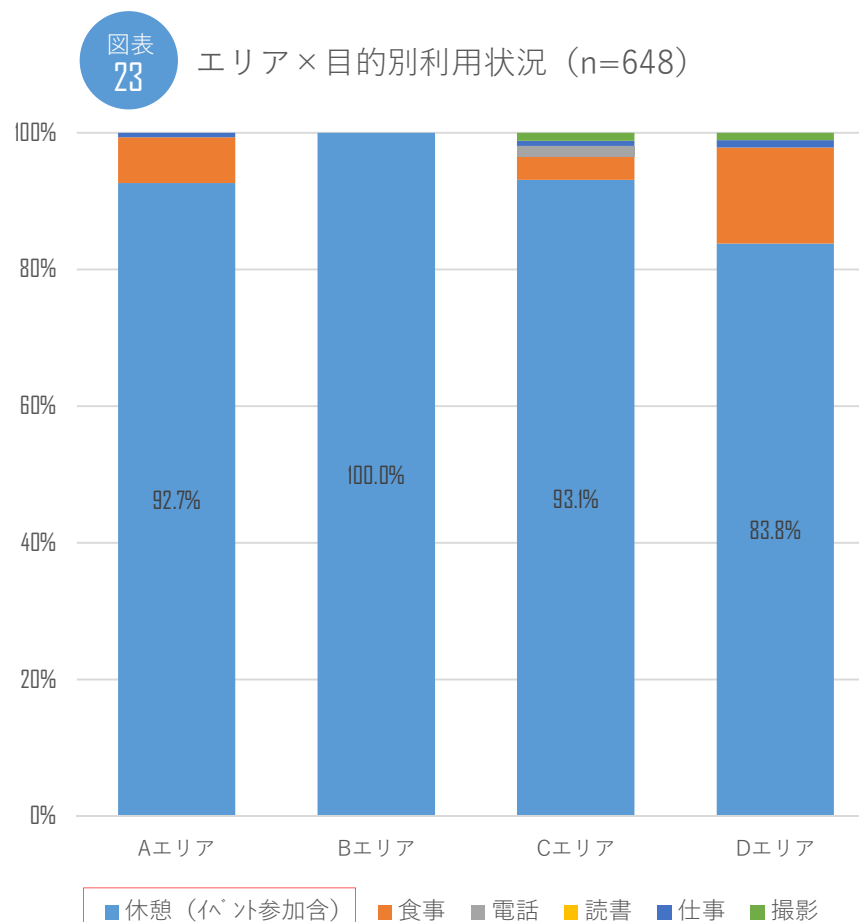
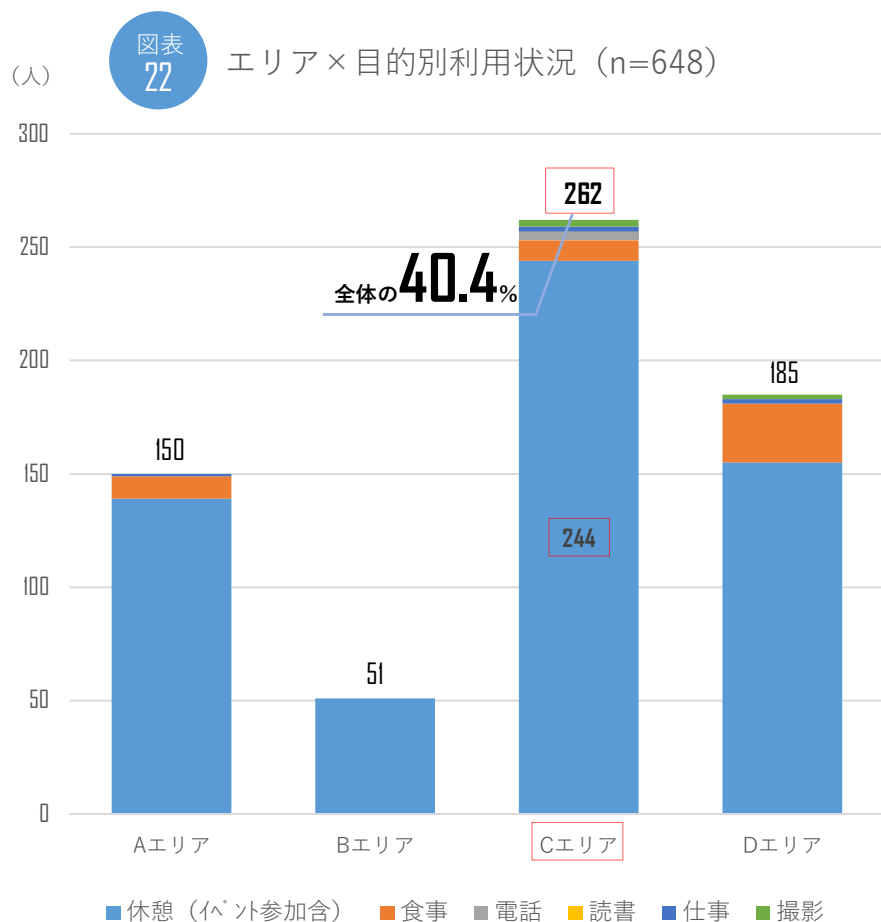
天候：晴れ、最高気温18℃、最低気温12℃

調査方法：調査員目視による現地調査

n=648人



- ・ **Cエリアの利用が最も多く262人となり、全体の40.4%となった。** (図表22)
- また、Cエリアの利用の内、「休憩」での利用が最も多く119人となった。(図表22)
- ・ **全エリアにおいて、「休憩（イベント参加含）」の割合が最も多くなった。** (図表23)



利用実態調査

【利用実態調査の条件等】

実施日時：令和4年10月29日(土)10:00～20:00

調査方法：調査員目視による現地調査

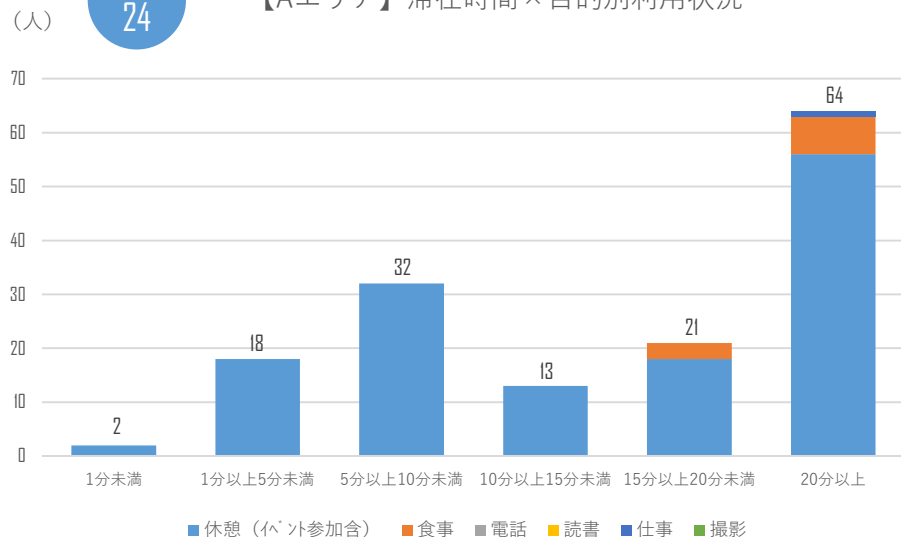
天候：晴れ、最高気温18℃、最低気温12℃

n=648人



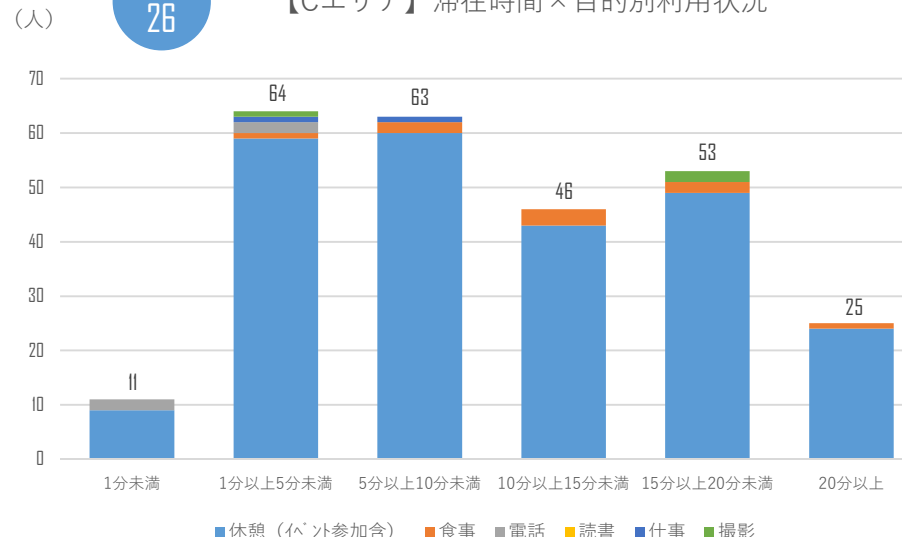
図表 24

【Aエリア】滞在時間×目的別利用状況



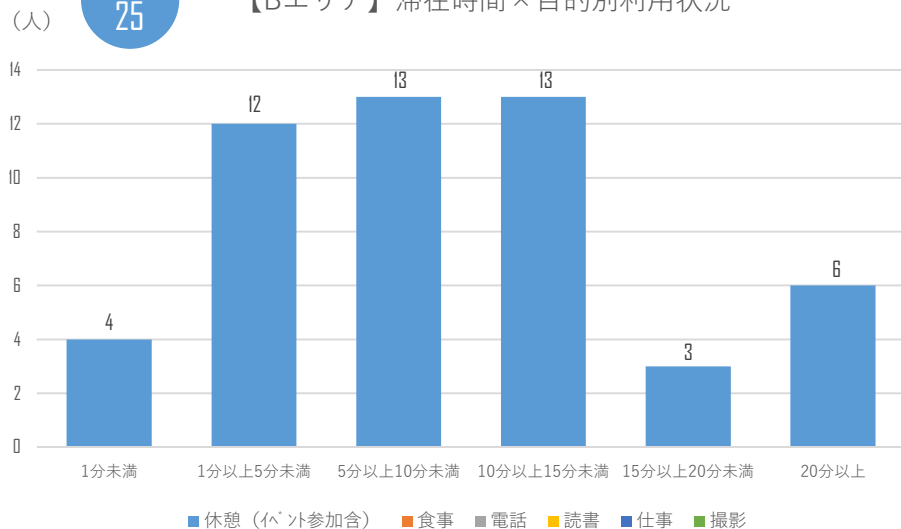
図表 26

【Cエリア】滞在時間×目的別利用状況



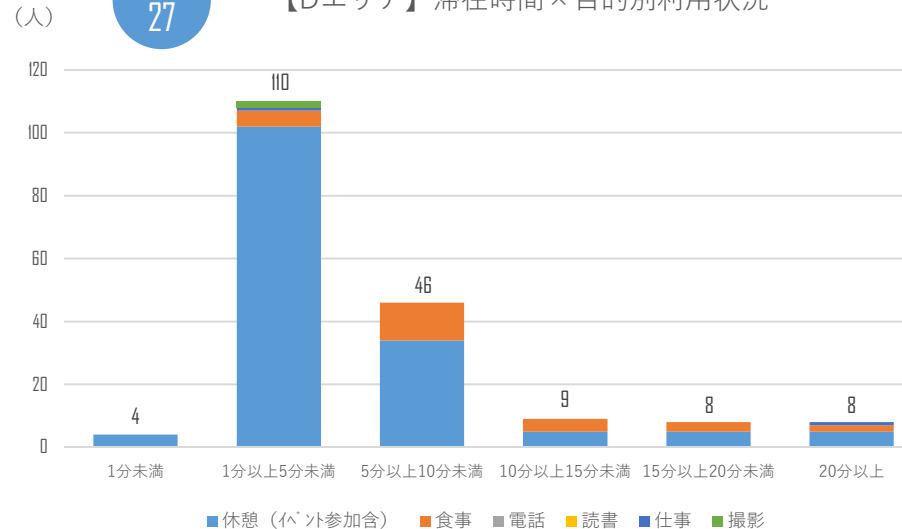
図表 25

【Bエリア】滞在時間×目的別利用状況



図表 27

【Dエリア】滞在時間×目的別利用状況



利用実態調査

【利用実態調査の条件等】

実施日時：令和4年10月29日(土)10:00~20:00

天候：晴れ、最高気温18℃、最低気温12℃

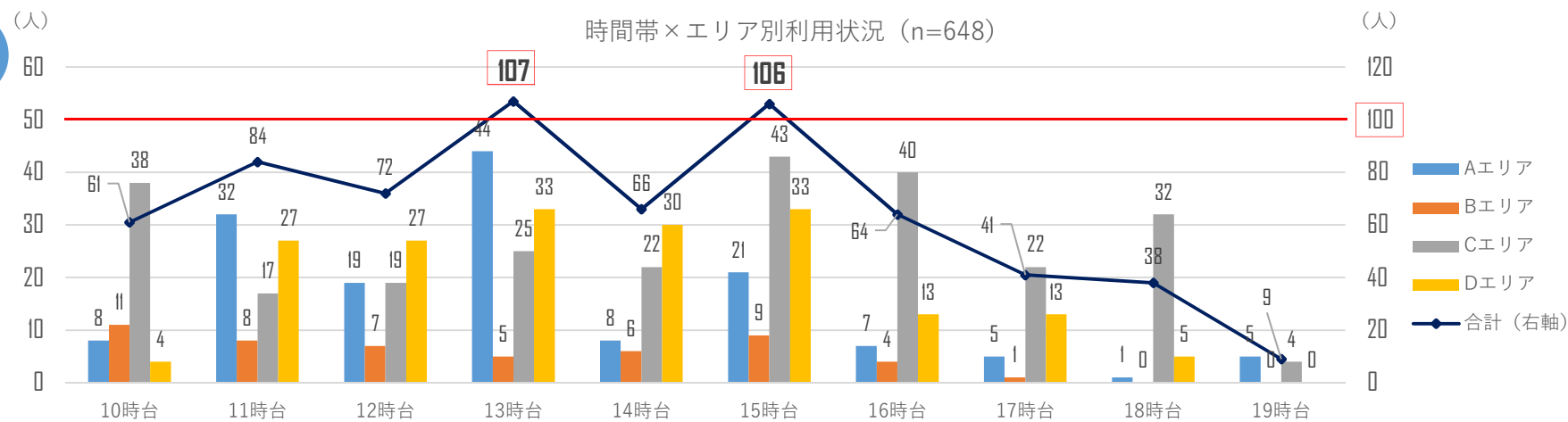
調査方法：調査員目視による現地調査

n=648人

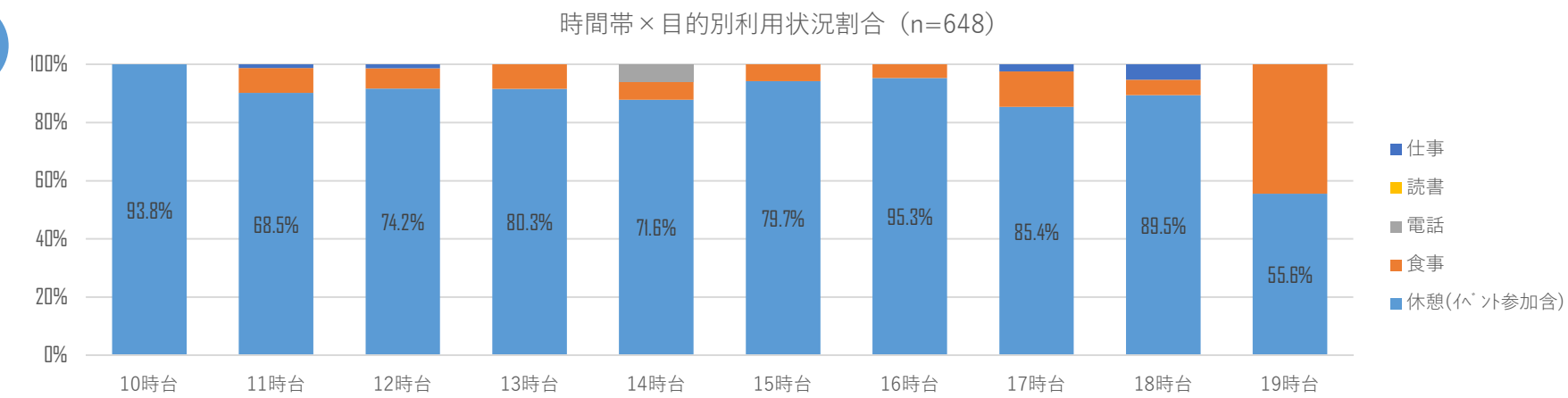


- ・ イベントが開催された**13時台**及び**15時台**の利用が多く全体で100人を超えた。(図表28)
- ・ イベントが開催された時間帯(11時~15時)は**Aエリア**及び**Dエリア**付近の利用が多く、それ以外の時間帯は、**Cエリア**の利用が多かった。(図表28)
- ・ **全時間帯**で「休憩(イベント参加含)」での利用割合が高かった。(図表29)

図表 28



図表 29



利用実態調査

【利用実態調査の条件等】

実施日時：令和4年10月29日(土)10:00～20:00

調査方法：調査員目視による現地調査

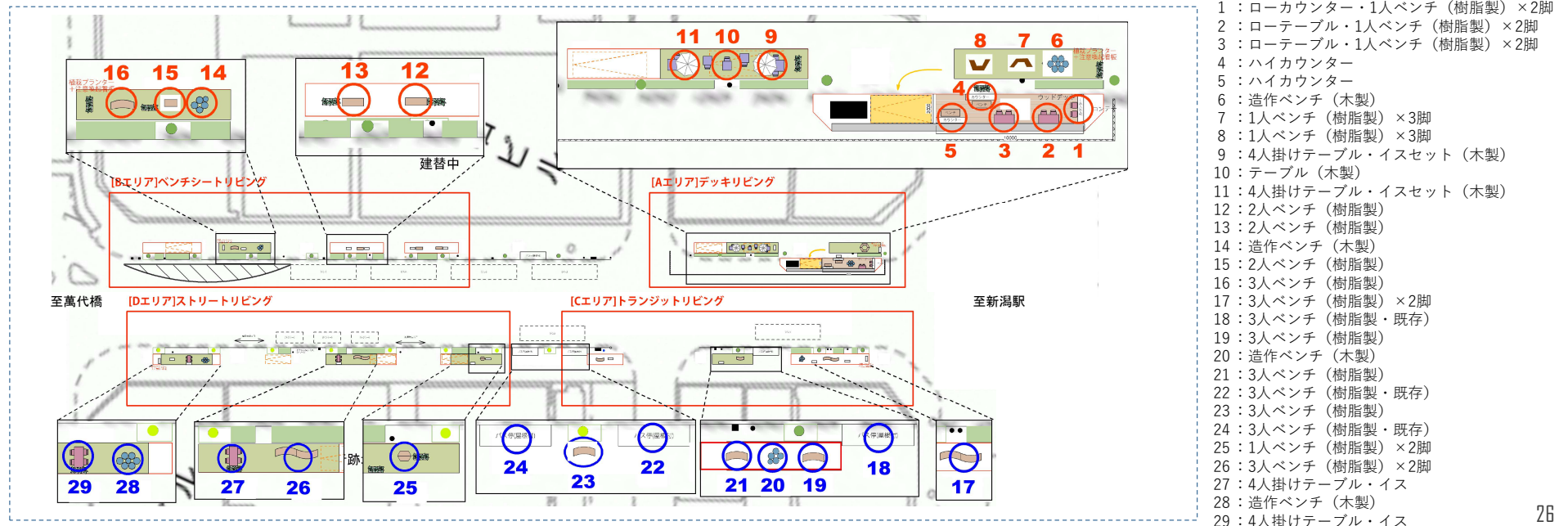
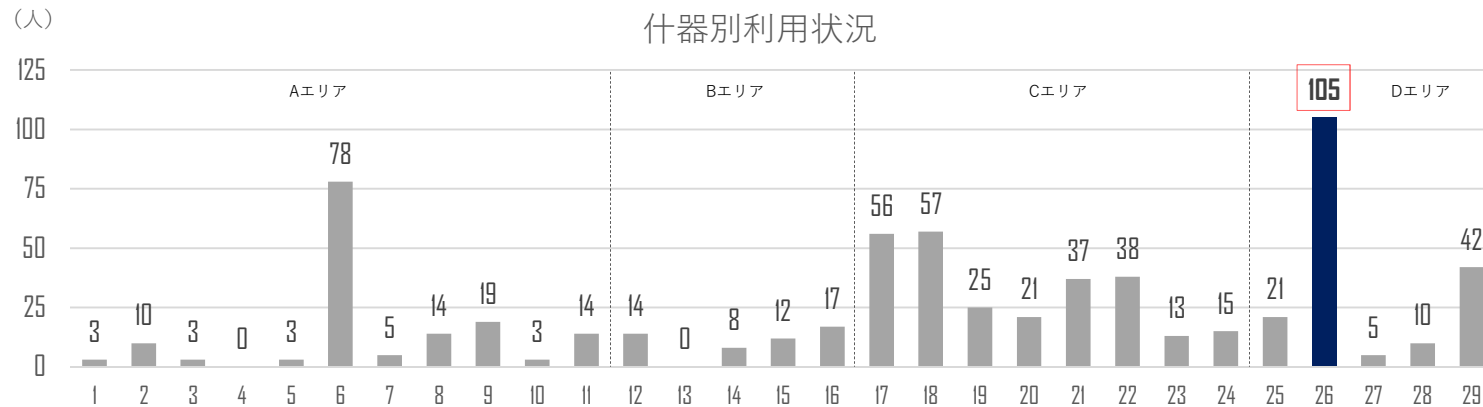
天候：晴れ、最高気温18℃、最低気温12℃

n=648人



- ・ 什器の利用が最も多かったのは、**DエリアのNo.26で105人**となった。(図表30)
- ・ バス停があるCエリア付近の什器の利用が多かった。(図表30)
- ・ イベントが開催されたDエリア付近の利用が多かった。(図表30)

図表
30

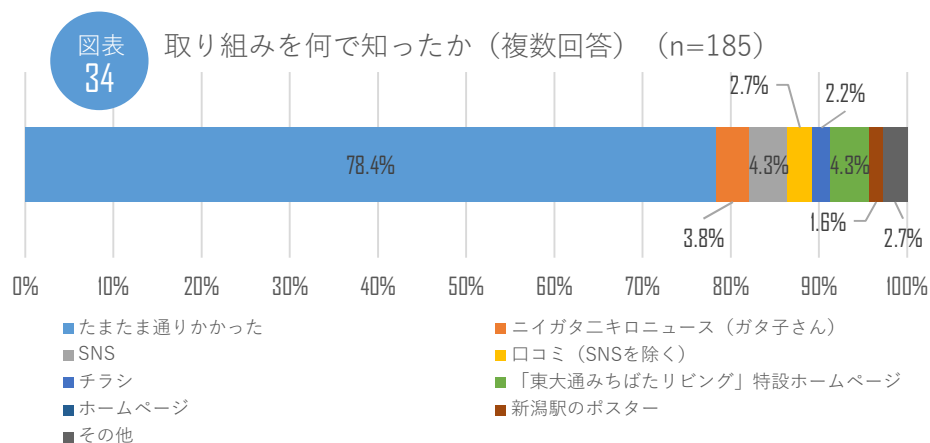
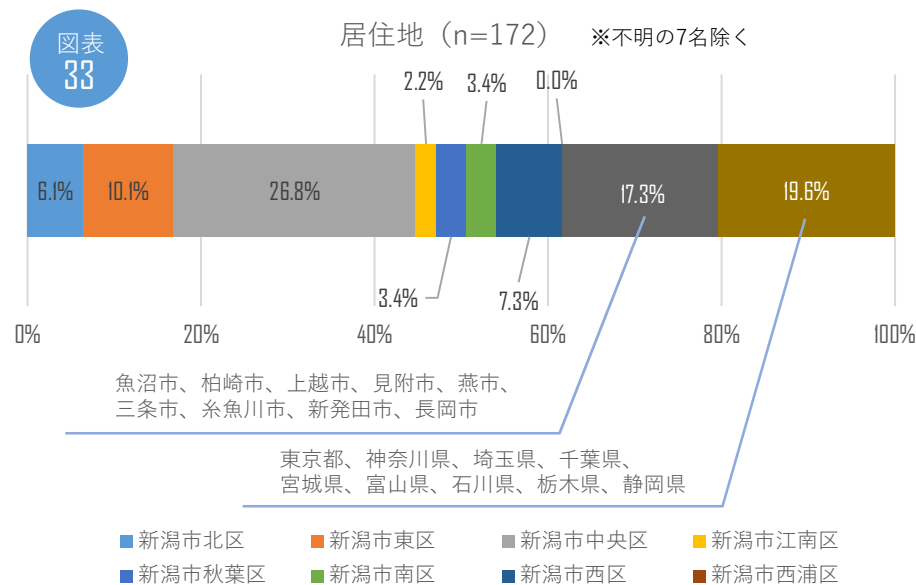
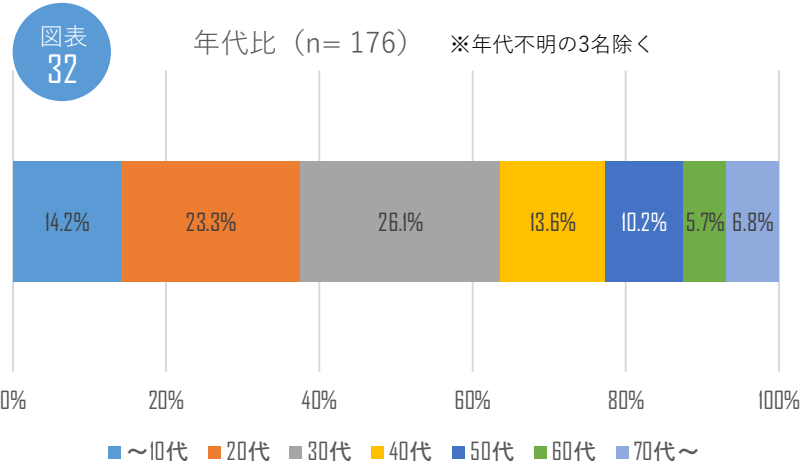
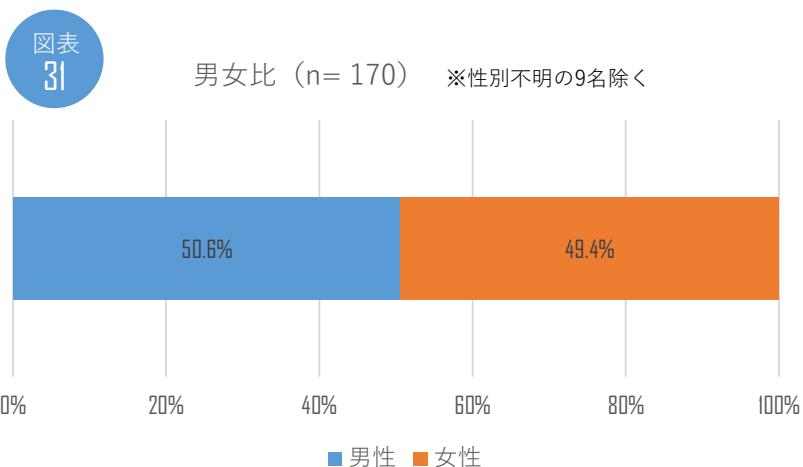


利用者アンケート調査

【参考】利用者アンケート調査 基本情報



実施日時：令和4年10月26日(水)、29日(土)のそれぞれ10:00~20:00（調査方法：現地調査）
 令和4年10月14日(金)10:00~10月31日(月)18:00（調査方法：WEBによる回答）
 回答者数：179

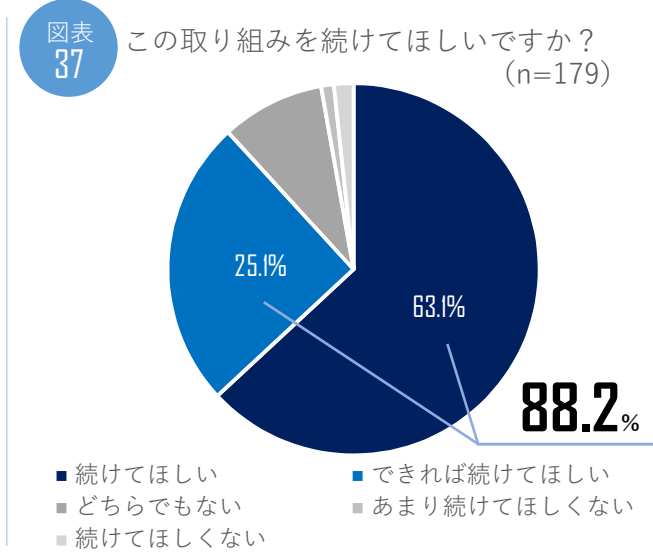
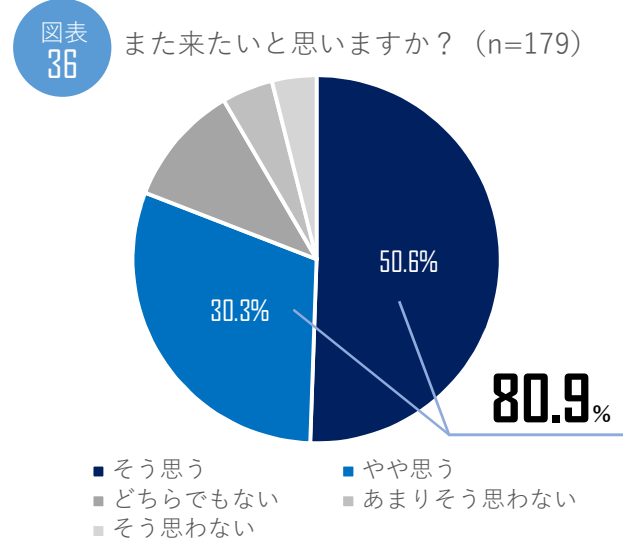
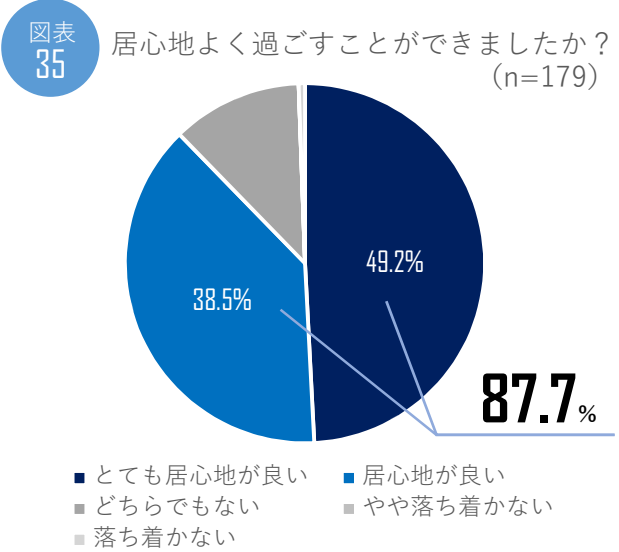


利用者アンケート調査

【アンケート調査（利用者）の概要】
 実施日時：令和4年10月26日（水）、29日（土）の10:00～20:00
 調査方法：調査員による現地調査
 実施日時：令和4年10月14日（金）～31日（月）
 調査方法：現地にQRコード設置しWEBによる回答



- ・「居心地よく過ごすことができましたか」については、**9割弱（87.7%）**が「**とても居心地が良い**」「**居心地が良い**」と回答した。（図表35）
- ・「また来たいと思いますか」については、**8割強（80.9%）**が「**そう思う**」「**やや思う**」と回答した。（図表36）
- ・「この取り組みを続けてほしいですか」については、**9割弱（88.2%）**が「**続けてほしい**」「**できれば続けてほしい**」と回答した。（図表37）



【この取り組みを「続けてほしい」「できれば続けてほしい」と回答をした方の意見・要望】

- ・人の集まる場所が沢山あると良いなと思います。（埼玉県/30代/女性）
- ・雰囲気すごく良くて、もう少し利用客が増えて賑わったらなぁと思います。10/30で終わるのが悲しいです。（東区/20代/男性）
- ・緑が以前より増えたのが良いと思います。（市内/10代/女性）
- ・休憩出来るベンチを常設して欲しい。（中央区/50代/女性）
- ・暖かい季節にやって欲しい（西区/30代/男性）
- ・早めに周知して欲しかった（都内/50代/女性）
- ・気軽に座りづらい（中央区/30代/女性）

【この取り組みを「あまり続けてほしくない」「続けてほしくない」と回答をした方の意見・要望】

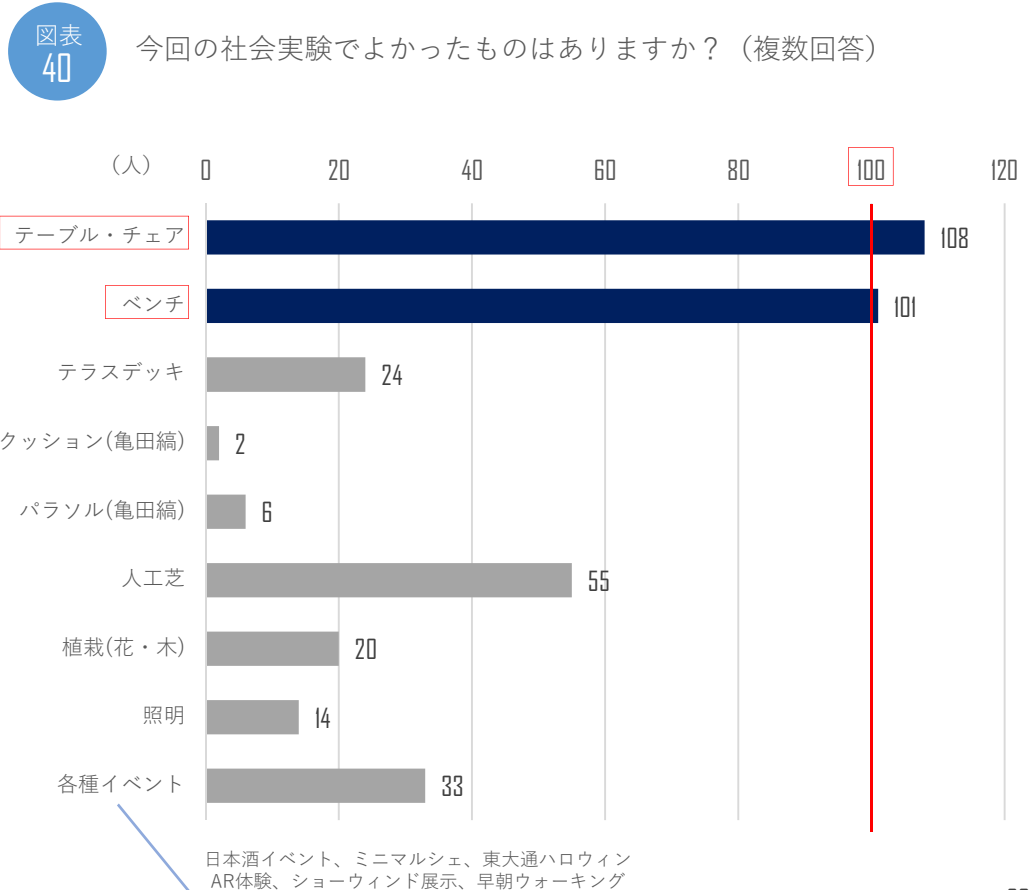
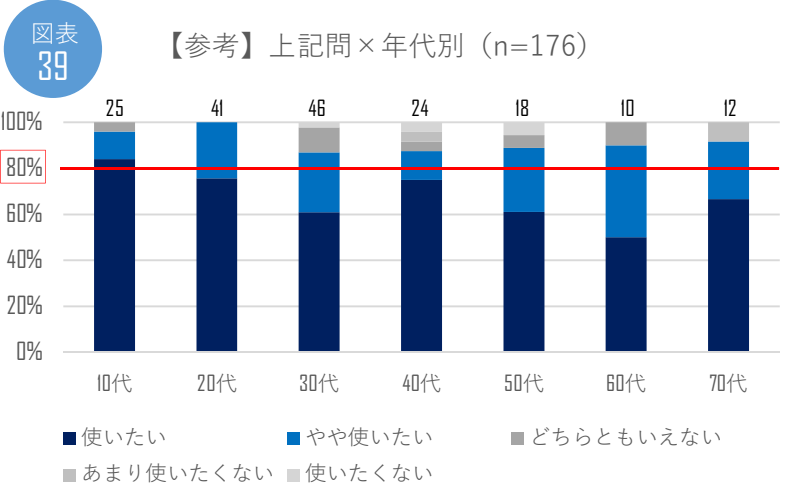
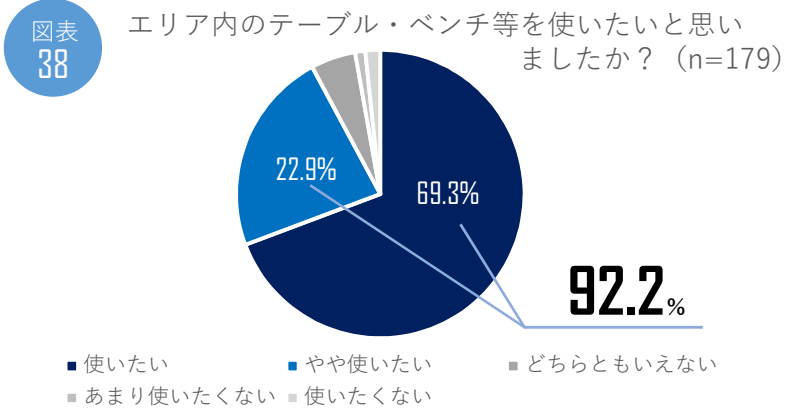
- ・イベントのため歩道が狭くなっており、バスから降りてくる人とすれ違うのが困難（東区/男性）
- ・バス、車の通行量が多く、音や排気ガスが気になる場所で、くつろぐのは難しいと思いました。夜は寒々しくかえって寂れた街という雰囲気を出していました。（市内/50代/女性）
- ・屋根が欲しい（中央区/40代/男性）
- ・駅前ではなく駅と万代の間で行ってほしい（中央区/70代/男性）

利用者アンケート調査

【アンケート調査（利用者）の概要】
 実施日時：令和4年10月26日(水)、29日(土)の10:00～20:00
 調査方法：調査員による現地調査
 実施日時：令和4年10月14日（金）～31日（月）
 調査方法：現地にQRコード設置しWEBによる回答



- ・「エリア内のテーブル・ベンチ等を使いたいと思いましたが」については、**9割強（92.2%）が「使いたい」「やや使いたい」と回答した。**（図表38）
- ・「エリア内のテーブル・ベンチ等を使いたいと思いましたが」については、**全世代とも8割強の方が「使いたい」「やや使いたい」と回答した。**（図表39）
- ・「今回の社会実験でよかったものはあるか」については、「**テーブル・チェア**」「**ベンチ**」と回答した方が多く、それぞれ100人以上と多かった。（図表40）



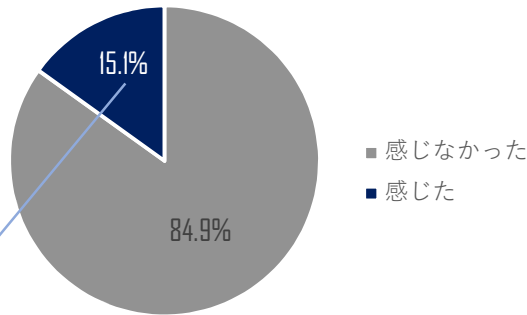
利用者アンケート調査

【アンケート調査（利用者）の概要】
 実施日時：令和4年10月26日(水)、29日(土)の10:00～20:00
 調査方法：調査員による現地調査
 実施日時：令和4年10月14日(金)～31日(月)
 調査方法：現地にQRコード設置しWEBによる回答

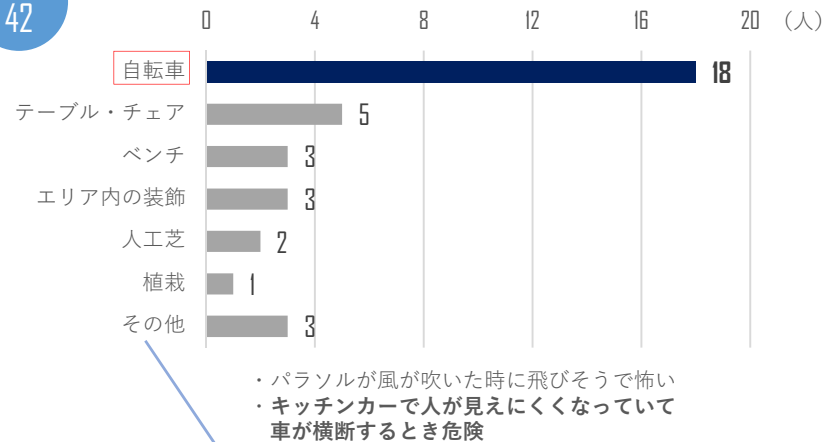


- ・エリア内で危ないと感じた方の内、「危ないと感じたものはなにですか」については、「**自転車**」と回答した方が**最も多く18人**となった。（図表41）
 - ・「エリアの道路などの公共空間にあったら良いと思うものはありますか」については、「**休憩スペース（ベンチ等）**」「**雨をしのげる施設（東屋等）**」「**トイレ**」と回答した方が**多く40人以上**となった。（図表43）
- また、「マルシェなどの催し」「キッチンカー」などのイベント関係の回答も多く見られた。（図表43）

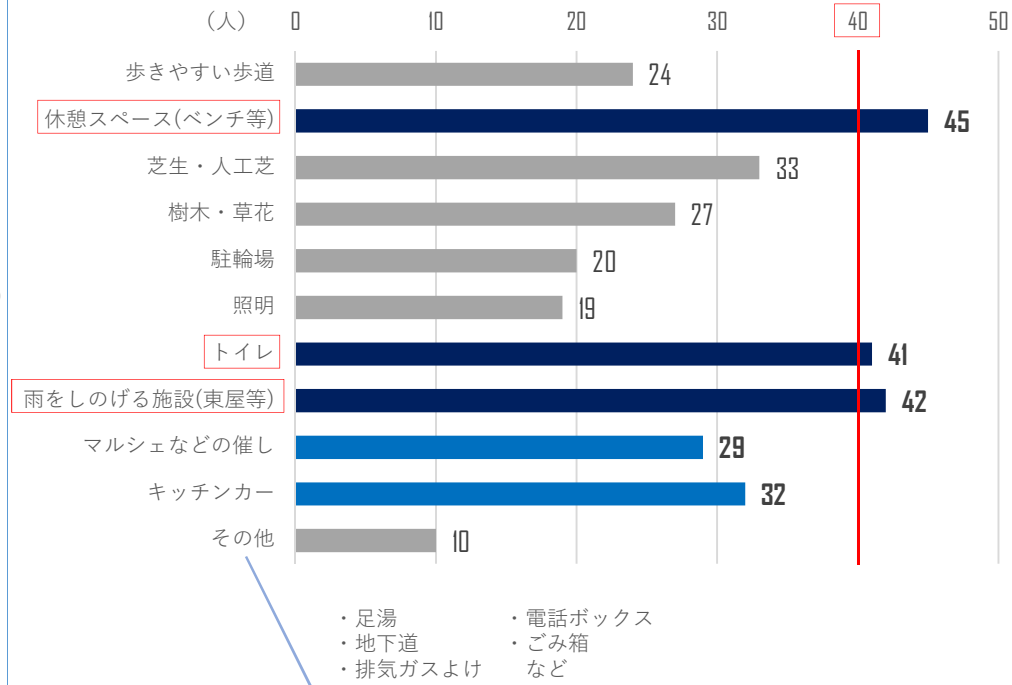
図表 41 エリア内で危ないと感じましたか？ (n=179)



図表 42 危ないと感じたものはなにですか？（複数回答）



図表 43 エリアの道路などの公共空間にあったら良いと思うものはありますか？（複数回答）



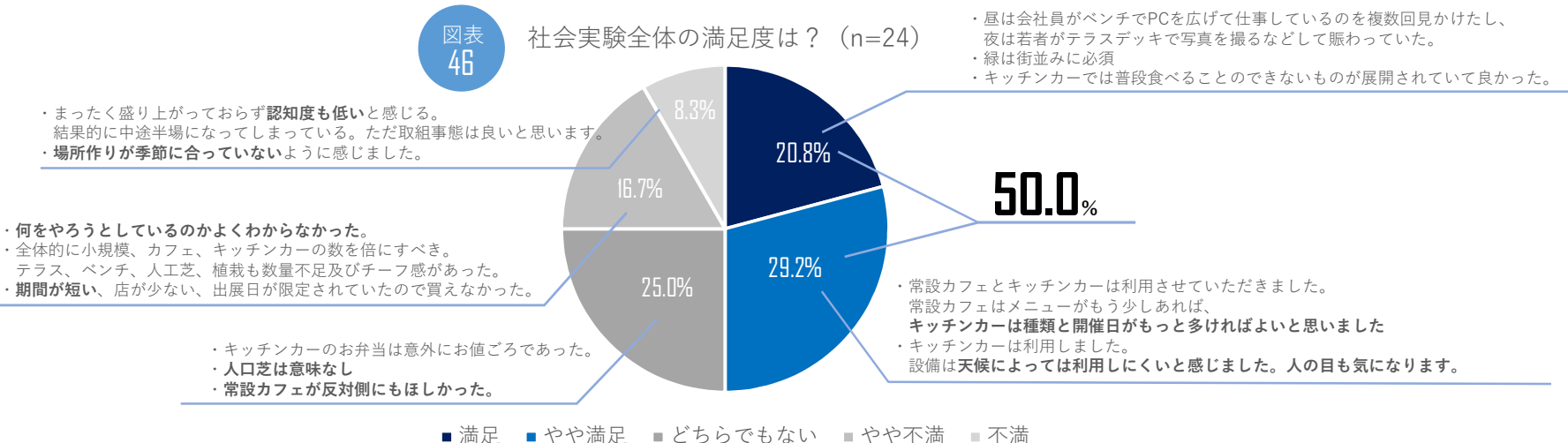
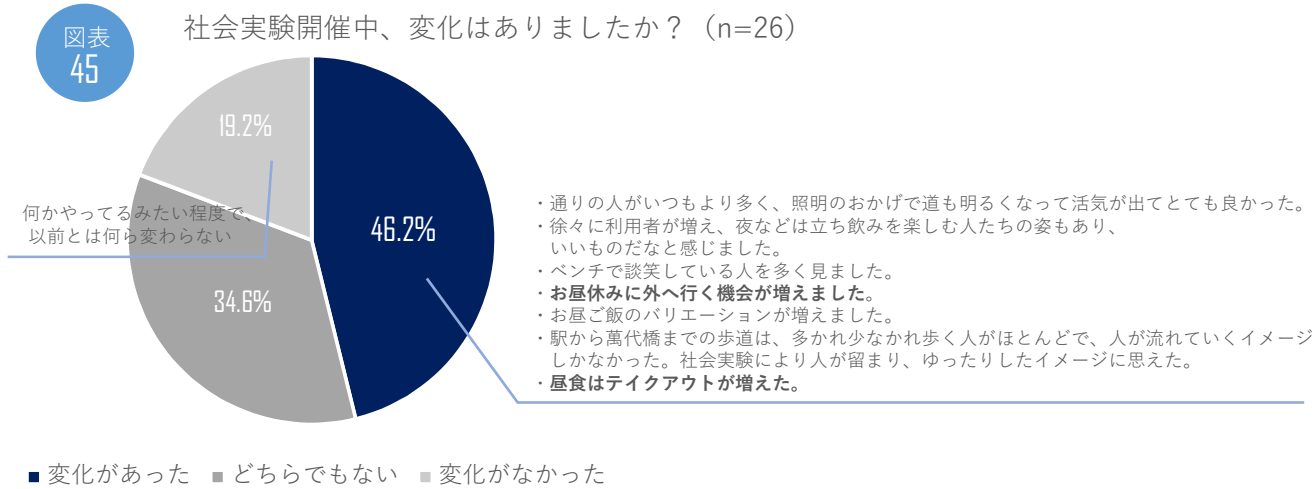
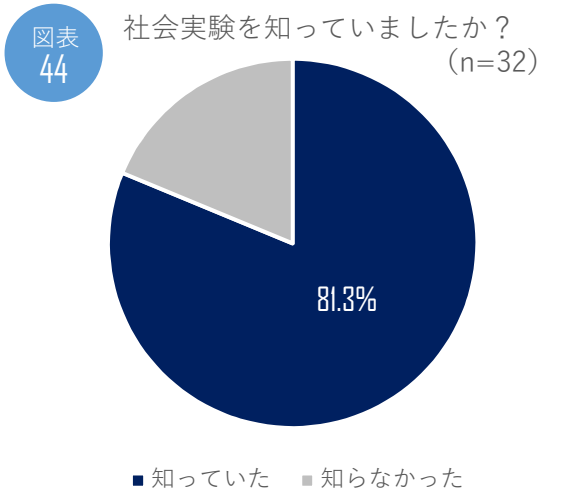
沿道建物入居テナントアンケート調査

沿道建物入居テナントアンケート調査

【アンケート調査（テナント）の概要】
 実施日時：令和5年1月23日（月）～2月10日（金）
 調査方法：WEBによる回答
 回答社数：32社（配布数：153通）



- ・「社会実験を知っていましたか」については、**8割強（81.3%）**が「**知っていた**」と回答した。
- ・「社会実験開催中、変化はありましたか」については、**5割弱（46.2%）**が「**変化があった**」と回答した。（図表45）
- ・「社会実験全体の満足度は」については、**5割が「満足」「やや満足」と回答した。**（図表46）

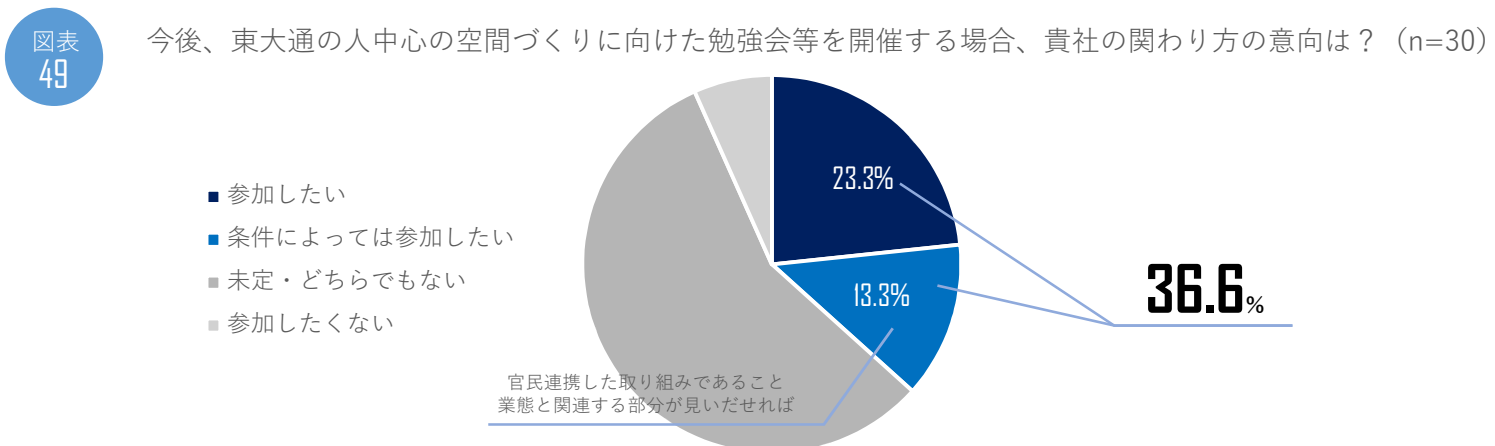
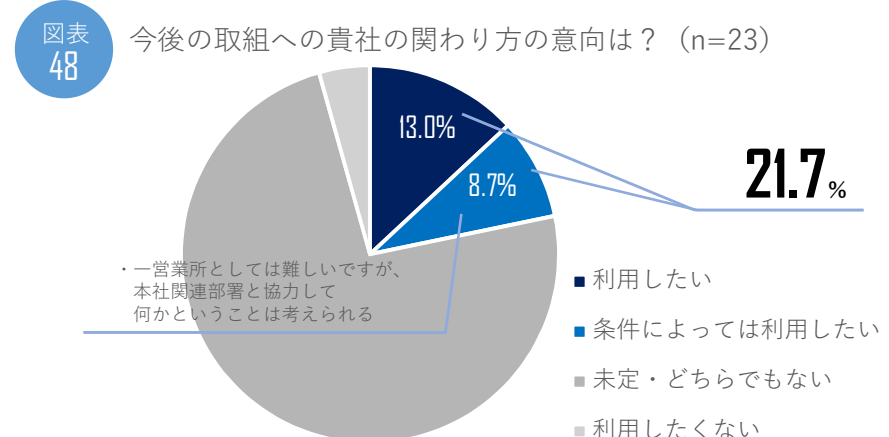
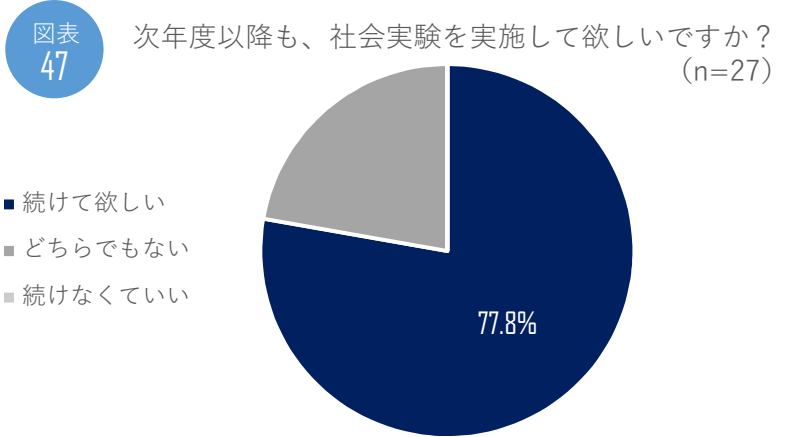


沿道建物入居テナントアンケート調査

【アンケート調査（テナント）の概要】
 実施日時：令和5年1月23日(月)～2月10日(金)
 調査方法：WEBによる回答
 回答社数：32社（配布数：153通）



- ・「次年度以降も、社会実験を実施して欲しいですか」については、**8割弱（77.8%）が「続けて欲しい」と回答した。**（図表47）
- ・「今後の取組への貴社の関わり方の意向」については、**2割強（21.7%）が「利用したい」「条件によっては利用したい」と回答した。**（図表48）
- ・「今後、東大通の人中心の空間づくりに向けた勉強会等を開催する場合、貴社の関わり方の意向」については、**4割弱が「参加」「条件によっては参加した」と回答した。**（図表49）



常設カフェ・キッチンカー売上額調査

常設カフェ・キッチンカー売上額調査



- ・常設カフェ含めテラスデッキ周辺の出店者の**合計の売上額は800,000円超**となった。
- ・キッチンカーの**合計の売上額は500,000円超**となった。
- ・キッチンカーの次年度の出店意向については、5割強（57.1%）が「出店したい」と回答した。（図表50）

【常設カフェ等テラスデッキ周辺の出店者の売上額】

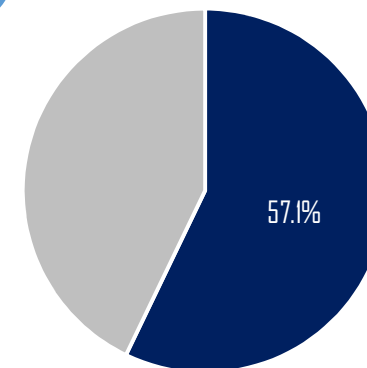
総額 **882,640**円

【キッチンカーの売上額】

総額 **568,290**円

図表
50

キッチンカーの次年度の出店意向



■ 出店したい ■ まだわからない

【よかった点と課題（自由記載）】

- ・人通りは多いが、キッチンカーを利用しようという雰囲気ではないのか足を止める人が少なかった。
- ・駅前働いている方々が思っていたよりもランチのお店を探していることがわかった。
- ・1ヶ月かけて続けて出店したことで、最後の週、やっとめがけてきてくださる方や声をかけてくださる方が増えた。長期的に出店して、認知していただき、購入はさらにその先になると思う。
- ・もう少し立ち寄りやすい雰囲気作りが必要だったかと思う。
- ・キッチンカーがもう少し密集していた方が目立つのかなと思った。
- ・お客さんの反応は良かったように思う。近隣のテナントさんは存在を事前に知っていたが、通行人は初めて知ったという方が多く、**認知度向上が重要**と感じた。
- ・**取り組みとして継続すべき**と思う。





社会実験のまとめ



社会実験のまとめ



- ・令和4年度の検証結果を基に課題を踏まえ、次年度以降も**社会実験を継続して実施し、将来的な東大通の姿を共有しながら、通りの再編を検討**していく。

歩行者交通量調査

- ・社会実験実施期間中、東大通の歩行者通行量が増加した（図表2,3,4）

利用実態調査

- ・イベントを実施することで、利用者数が増加した（図表5～8）
- ・1分以上5分未満の利用が多かった（図表9,20）
- ・Bエリアの利用が少なく、Cエリアの利用が多かった（図表11,22）

利用者アンケート調査

- ・8割以上が社会実験を良好に捉えている（図表35～37）
- ・100人を超える利用者が今回の社会実験で「テーブル・チェア」「ベンチ」がよかったと回答した（図表40）
- ・暖かい季節にやってほしい、早めに周知してほしいといった要望があった。また、社会実験期間に関わらず、ベンチの常設化を望む声もあった。（図表37 自由記載欄）
- ・イベントやキッチンカー出店のため歩道が狭くなったり、視界が悪くなるケースがあった（図表37 自由記載欄、図表42）
- ・「自転車」が危ないと感じている（図表42）
- ・公共空間に「休憩スペース」が欲しいとの声が多かった（図表43）

沿道建物入居テナントアンケート調査

- ・約8割が社会実験を「知っていた」と回答し、次年度以降も「続けて欲しい」と回答している（図表44,47）
- ・社会実験への関わりや東大通の勉強会などへの参加に、前向きな回答が得られた（図表48,49）

売上額調査

- ・イベントの認知度向上が課題であったが、キッチンカーは次年度も半数以上が出店を希望した（図表50）

次年度以降に向けて

- ・東大通の歩行者通行量の増加による、他の道路への影響も把握する。

- ・道路再編を見据え、東大通の位置づけや活用の在り方について検証し、東大通の更なる可能性を把握する。
- ・ベンチ等の適正配置と、より利用しやすい工夫を行う。

- ・休憩スペースの確保の他、社会実験会場付近を通行する歩行者及び自転車の交通環境の在り方について、安全性や快適性の観点から検討を進める。
- ・恒常的な休憩スペースの設置について、検討を進める。



- ・単なる一過性のイベントではなく、社会実験の目的や意義を丁寧に説明し、関係者を増やし、巻き込んで実施できるように検討を進める。
- ・持続可能な利活用の方策を、出店者と協議しながら検討を進める。
- ・より多くの利用者に情報を伝えるため、広報の充実を図る。

